

# 柏市健康増進計画 平成27年度進捗状況報告書

平成28年8月  
柏市

# 目次

1 栄養・食生活	1
2 身体活動・運動	8
3 休養・こころの健康	15
4 喫煙	20
5 飲酒	25
6 歯・口腔の健康	27
7 糖尿病	35
8 循環器疾患	39
9 がん	43

\*：事業も内容も全て再掲であるもの

※：事業は再掲だが，内容は異なるもの

1. 栄養・食生活

(1) 適正体重を維持するための知識の普及

① 成人女性のやせ(20歳代) [BMIが18.5未満]及び成人女性の肥満[BMI25.0以上]の減少

② 児童・生徒の肥満[標準体重の+20%以上]の減少

③ 体重の変化を気にしている人(成人)の割合の増加

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度取り組みについて	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																																												
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	高齢期																																																																
保健所 地域健康づくり課	給食施設指導事業	① 個別指導(各施設を個別に巡回し、現地指導を実施。電話、来所による相談) ② 集団指導(テーマに対応職種別、施設種類別に研修会を開催) ③ 調査報告(各給食施設運営・栄養管理状況を把握するための年2回調査実施)	地評 (学校保健課・ 保育運営課) 柏市保健所管 内集団給食研 究会	・肥満及びやせの割合の減少 ・啓発媒体活用増加	△	△	△	○	△	<table border="1"> <tr> <th colspan="5">実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)</th> </tr> <tr> <th colspan="5">給食施設指導件数</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>36件</td> <td>20件</td> <td>34件</td> <td>22件</td> <td>33件</td> </tr> <tr> <td colspan="5">「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合(国基準: H26年度比+5%以上)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="5">「やせに該当する者の割合」の増加施設割合(国基準: H26年度比+5%以上)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="5">「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合(各施設における前年度比増)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>47.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="5">「やせに該当する者の割合」の増加施設割合(各施設における前年度比増)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>39.0%</td> </tr> </table>	実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					給食施設指導件数					H23	H24	H25	H26	H27	36件	20件	34件	22件	33件	「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合(国基準: H26年度比+5%以上)					—	—	—	—	1.0%	「やせに該当する者の割合」の増加施設割合(国基準: H26年度比+5%以上)					—	—	—	—	1.0%	「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合(各施設における前年度比増)					—	—	—	—	47.0%	「やせに該当する者の割合」の増加施設割合(各施設における前年度比増)					—	—	—	—	39.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度より各施設における肥満及びやせの割合を把握している。平成27年度と平成26年度の結果を比較し、国基準の+5%以上の施設に対し、改善に向けての計画を立て実施できるよう指導・助言をした。</li> <li>・平成28年度は、国基準の+5%以上の施設への指導の継続と、新たに、該当割合が高い施設への啓発を進めていく。</li> <li>・喫食者への栄養指導が難しい施設で使用できる媒体を作成し、個別指導を行うきっかけづくりの支援に努める。</li> <li>・平成27年度より「肥満及びやせに該当する者の割合」の増加施設割合を、指標として追加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設の割合変動を確認し、増加傾向にある施設や、該当割合が多い施設における改善対策の指導</li> <li>・助言を継続して行う</li> <li>・新たな改善案を検討し、積極的に取り組んでいく。</li> </ul>	
実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)																																																																									
給食施設指導件数																																																																									
H23	H24	H25	H26	H27																																																																					
36件	20件	34件	22件	33件																																																																					
「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合(国基準: H26年度比+5%以上)																																																																									
—	—	—	—	1.0%																																																																					
「やせに該当する者の割合」の増加施設割合(国基準: H26年度比+5%以上)																																																																									
—	—	—	—	1.0%																																																																					
「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合(各施設における前年度比増)																																																																									
—	—	—	—	47.0%																																																																					
「やせに該当する者の割合」の増加施設割合(各施設における前年度比増)																																																																									
—	—	—	—	39.0%																																																																					
学校教育 第一部 学校保健課	学校給食提供事業(小学校)	給食を生きた教材として、児童を対象に適切な摂取量や、成長に必要な栄養分を習得する。 また、養護教諭と連携し、咀嚼の重要性や栄養バランスの取れた食事、栄養と運動の両面を意識することで、健康な生活習慣を習得するための食育事業を行う。	学校歯科医	定期健康診断における肥満【標準体重の+20%以上】の人数の減少	○					<table border="1"> <tr> <th colspan="5">給食実施回数(平均)</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>185回</td> <td>185回</td> <td>185回</td> <td>185回</td> <td>185回</td> </tr> <tr> <th colspan="5">対象者数</th> </tr> <tr> <td>21930人</td> <td>21465人</td> <td>21430人</td> <td>21448人</td> <td>21525人</td> </tr> <tr> <td colspan="5">肥満【標準体重の+20%以上】の人数</td> </tr> <tr> <td>1360人</td> <td>1479人</td> <td>1432人</td> <td>1430人</td> <td>1390人</td> </tr> <tr> <td colspan="5">肥満【標準体重の+20%以上】の割合</td> </tr> <tr> <td>6.2%</td> <td>6.9%</td> <td>6.7%</td> <td>6.7%</td> <td>6.5%</td> </tr> </table>	給食実施回数(平均)					H23	H24	H25	H26	H27	185回	185回	185回	185回	185回	対象者数					21930人	21465人	21430人	21448人	21525人	肥満【標準体重の+20%以上】の人数					1360人	1479人	1432人	1430人	1390人	肥満【標準体重の+20%以上】の割合					6.2%	6.9%	6.7%	6.7%	6.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期健康診断において肥満度+20%以上の割合を減らすことが出来た。</li> <li>平成28年度においても、給食を生きた教材として、児童を対象に適切な摂取量や、成長に必要な栄養量について指導していく。</li> <li>引き続き、養護教諭と連携し、咀嚼の重要性や栄養バランスの取れた食事、栄養と運動の両面を意識すること、健康な生活習慣を習得するための食育事業を行う。</li> <li>歯科医と連携した授業実践をして栄養教諭研修会において公開した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科医と連携した授業実践を栄養教諭配属学校以外でも実践できるよう、指導案の公開や授業公開を積極的に実施するよう働きかける。</li> </ul>																
給食実施回数(平均)																																																																									
H23	H24	H25	H26	H27																																																																					
185回	185回	185回	185回	185回																																																																					
対象者数																																																																									
21930人	21465人	21430人	21448人	21525人																																																																					
肥満【標準体重の+20%以上】の人数																																																																									
1360人	1479人	1432人	1430人	1390人																																																																					
肥満【標準体重の+20%以上】の割合																																																																									
6.2%	6.9%	6.7%	6.7%	6.5%																																																																					

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ				実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取組みについて	平成29年度の方角性	委員の評価・アドバイス																																
					幼児期	学童期	児童期	青年期					高齢期																															
学校保健部 学校保健課	学校給食提供事業 (中学校)	給食を生きた教材として、生徒を対象に適切な摂取量の体得、成長に必要な栄養分を習得する。 また、養護教諭と連携し、咀嚼の重要性や栄養バランスの取れた食事、栄養と運動の両面を認識すること、健康な生活習慣を習得するための食育事業を行う。	学校歯科医	定期健康診断における肥満【標準体重の+20%以上】の人数の減少					<table border="1"> <tr> <td colspan="4">給食実施回数(平均)</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>180回</td> <td>180回</td> <td>180回</td> <td>180回</td> </tr> <tr> <td colspan="4">肥満【標準体重の+20%以上】の人数</td> </tr> <tr> <td>746人</td> <td>715人</td> <td>746人</td> <td>778人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">肥満【標準体重の+20%以上】の割合</td> </tr> <tr> <td>7.7%</td> <td>7.3%</td> <td>7.5%</td> <td>7.9%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7.1%</td> </tr> </table>	給食実施回数(平均)				H23	H24	H25	H26	180回	180回	180回	180回	肥満【標準体重の+20%以上】の人数				746人	715人	746人	778人	肥満【標準体重の+20%以上】の割合				7.7%	7.3%	7.5%	7.9%				7.1%	平成27年度取組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取組みについて 定期健康診断において肥満【標準体重の+20%以上】の割合を減らすことが出来た。 平成28年度においても、給食を生きた教材として、生徒を対象に適切な摂取量の体得及び成長に必要な栄養分について指導していく。 引き続き、養護教諭と連携し、咀嚼の重要性や栄養バランスの取れた食事、栄養と運動の両面を認識すること、健康な生活習慣を習得するための食育事業を行う。 歯科医と連携した授業実践をして栄養教諭研修会において公開した。	平成29年度の方角性 歯科医と連携した授業実践を栄養教諭研修会の公開や授業公開を積極的に実施するよう働きかける。	委員の評価・アドバイス
給食実施回数(平均)																																												
H23	H24	H25	H26																																									
180回	180回	180回	180回																																									
肥満【標準体重の+20%以上】の人数																																												
746人	715人	746人	778人																																									
肥満【標準体重の+20%以上】の割合																																												
7.7%	7.3%	7.5%	7.9%																																									
			7.1%																																									
保健福祉部 福祉課	柏フレイル予防プロジェクト2025(*)	「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による推進委員会」を設置、運営しながら、健康づくり事業の効果的な運動と地域の活動を推進	歯科医師会、薬剤師会、学識経験者、市民協賛会、福祉協議会、児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション運動連絡会、地域包括支援センターなど	市民の意識、行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)					<table border="1"> <tr> <td colspan="4">H25</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">H26</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">H27</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	H25								H26								H27								平成27年度は、片内関係課や関係機関と「フレイル」予防に関する協議を重ね、年度末に柏フレイル予防プロジェクト2025推進委員会を設置した。 平成28年度は同委員会において目標設定やそれに向けた事業のあり方を議論し、実施していく。 平成29年度は、目標や事業計画の達成に向け、各施策を推進する。	平成29年度の方角性 平成28年度も同様 に継続予定である。 ※本相談事業は、体重的に相対的に重かった場合に、その人に合った助言をしているのである。このジャンルの知識を広く伝えていく(普及)とばかりに、対象も40歳以上である。									
H25																																												
H26																																												
H27																																												
保健福祉部 成人健康課	健康づくり相談	健康診断の結果により、生活習慣改善の必要な方に、保健師・管理栄養士が個別相談を行い、個人の生活に即した具体的なアドバイスをを行う。		健康診断の結果により、生活習慣改善の必要な方に、保健師・管理栄養士が個別相談を行い、個人の生活に即した具体的なアドバイスをを行う					<table border="1"> <tr> <td colspan="4">H25</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>132人</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">H26</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>88人</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">H27</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>115人</td> </tr> </table>	H25						132人		H26						88人		H27							115人	希望者の相談内容に即してアドバイスをを行っている。										
H25																																												
		132人																																										
H26																																												
		88人																																										
H27																																												
			115人																																									

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ			平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度 の取り組みについて	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期			
保健所 成人健 診課	柏市健康診 査 (無保険者)	40歳以上で、無保険の 生活保護受給者を対象 に、特定健診と同内容の 健診を指定医療機関に て実施。 対象者に個別通知、希 望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候 群の予防、罹患 している病状の 安定や重症化 予防への行動 が取れるように する。					平成29年度も同様 に継続予定である。 ※本事業は、健康診 査が目的の第1であ る。対象者の特性か ら、フォローも慎重に 進めていく必要があ る。	
						H25	H26	H27		
						145人	210人	224人		

(2) 野菜の摂取量の増加

④ 野菜摂取量の増加の割合(成人)

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ			給食施設指導件数					平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度取り組みについて	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児	学童期	思春期	H23	H24	H25	H26	H27			
保健所 地域健康づくり課	給食施設指導事業(※)	①個別指導(各施設を個別に巡回し、現地指導を実施。電話、来所による相談) ②集団指導(テーマに対応し、職種別、施設種類別に研修会を開催) ③調査報告(各給食施設の運営・栄養管理状況を把握するための年2回調査実施)	他課(学校保健課・保健運営課) 柏市保健所 柏市保健所管内集団給食研究会	・給食施設の食品構成における野菜摂取量の増加 ・野菜料理の残渣量の減少 ・ヘルシーメニューの提供増加 ・啓発媒体活用増加	△	△	△	○	○	○	△	36件 20件 34件 22件 35件	・平成27年度は、個別巡回指導時に、栄養教育未実施の施設に対し、「野菜プラスひと皿」の啓発資料を提供した。 ・平成28年度も引き続き啓発資料を提供していく。 ・集団指導として、給食施設従事者研修会において、栄養管理について説明し、適切な野菜摂取量を確保できる献立とすよう、指導・助言していく。	・個別指導や集団指導において、給食は、要食者が正しい食習慣を身に付け、より健康的な生活を送るためによりよい機会であり、各施設において知識の普及に努めることが大切であることを継続して伝えていく。	
保健所 地域健康づくり課	啓発事業	イベント等の中で運動食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にホムレションアプリを一斉すること、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数) H23 - H24 - H25 6,109人 H26 - H27 5,235人 啓発実施者数(栄養・食生活) H23 - H24 - H25 - H26 1,681人 H27 365人	平成27年は参加イベントの対象層、啓発意識を高めるための参加体験型の啓発を実施。健康への気づき、取り組みへの動機付けを行うことができた。27年度重点課題「飲酒」については保健予防課と連携しチラシを作成し、啓発を強化した。「一口一歩」もクイズ形式で広い対象へのアプローチを実施した。平成28年度は特に食と運動をテーマに無関心層に向けて取り組みを実施する。	イベント参加者層にあわせて健康づくりのきつかけとして、参加体験型による啓発の展開を他課と連携し、実施する。	
経済産業部 農政課	食の安全・安心対策推進事業	市職員が農産物をサンプリングし、放射性物質検査を行う。また、検査結果についてホームページや広報などを通じて公表。	①千葉県 ②橋アトックス技術開発センター	食の安全・安心を確保する。	○	○	○	○	○	○	○	検査品目数・検体数 H23 111品目 489検体 H24 106品目 532検体 H25 99品目 412検体 H26 63品目 213検体 H27 120検体	農産物直売所等における販売額が回復基調にある一方で、今後も引き続き、タケノコ等感受性の強い一部の品目について、検査及び監視を行う。	状況に応じて、検査体制を見直す。	

(3)朝食を意識した、バランスのよい食生活の普及

⑥食事のバランスのよい割合(成人)の増加

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期				
保健福祉部 福祉推進課	栄養改善事業	国が定めた「2次予防事業対象者把握事業」により選定された「低栄養ハイスケル者」の中から、栄養個別相談の希望者に、食生活のアセスメントから、栄養指導・栄養相談・調理実習の実践を経て(6回訪問)、適正体重を保持、要介護状態の予防を図るもの	①東葛地区在宅栄養士会 ②包括支援センター	低栄養の改善							平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度の取り組みについて			
	母子保健食育	＜ママパパ学級・ママパパクッキング＞ 妊娠期の食生活支援 ＜離乳食教室＞ 離乳食のすすめ方 ＜母と子のつどい・歯びか・幼児健診＞ 栄養講話と個別相談			○					△	○	朝食の内容をみると、主食・主菜・副菜をそろえた割合は減少しているものの、夕食の状況には大きな変化は見られなかった。 妊娠期～幼児期の食への関心が高まる時期に、各事業を通じて家族の健康づくりのためのバランスの良い食事について啓発を行い意識付けができた。 二一卒の高い離乳の時期の支援強化の為に、後期離乳食教室を試行的に実施した。参加者の満足度は高く、H28より毎月実施し、基本的な食習慣の定着につなげる。		
保健福祉部 地域健康づくり課	母子保健食育	3歳児健康診査における主食・主菜・副菜をそろえた朝食の率											引き続き、各事業を通じてバランスのとれた食事について啓発をしていく。	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	高齢期	H23	H24	H25	H26	H27		
保健所 地域健康づくり課	栄養改善事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士業務連絡会(栄養改善・健康増進等の支援の推進を検討)</li> <li>・健康づくりの取組を進め実施する飲食店の登録</li> <li>・栄養関係団体育成(栄養・健康づくりを担う関係団体の育成)</li> <li>・栄養士養成校保健師実習における指導(地域保健を担う従事者の育成)</li> <li>・講演会の企画(食育推進研究会、健康講座(病態))</li> <li>・柏市地域栄養相談システム(システムの効果的運用)</li> <li>・食品の特別用途表示、栄養表示基準指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市保健所</li> <li>・管内調理師会</li> <li>・柏市保健所</li> <li>・管内集団給食研究会</li> <li>・柏市医師会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係課、関係団体との連携により食事のバランスのよい割合が増加</li> </ul>	△	△	△	△	△	△	4回	3回	3回	3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりは協力店の増加</li> <li>関係各課、関係団体と連携し、食とおした健康づくりと、食の環境整備に取り組む。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度取組の成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取組について</li> <li>・栄養士業務連絡会議で、健康増進計画推進のため、各課の取組について共有し、今後の取組について検討することができた。</li> <li>・健康づくりの取組は、新規が3件、取り消しが3件あり、合計数の増加は無かったが、今後も増加できるように、調理師会と共に飲食店に働きかける。</li> <li>・食育の推進事業では、栄養士、調理師の業務に役立てられるように研修会を開催することができた。研修会では、「はじめてよう！グー・パー」食生活を取り入れた食育活動や、野菜の摂取不足など、市民の健康課題について伝え、課題が改善できるように、参加者に啓発することができた。</li> </ul>														



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ				実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)				平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度取り組みについて	平成29年度の方角性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23	H24			
保健所 成人健 診課	柏市健康診 査 (無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の 生活保護受給者を対象 に、特定健診と同内容の 健診を指定医療機関に て実施。 対象者に個別通知、希 望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候 群の予防、罹患 している病状の 安定や重症化 予防への行動 が取れるように する。									平成29年度も同様 に継続予定である。 ※本事業は、健康診 査が目的の第1であ る。対象者の特性か ら、フォローも慎重に 進めていく必要があ る。		
					105人	132人	145人	210人	224人	希望者の相談内容に即して アドバイスを打っている。					
こども部 保育課 営課	クッキング保 育	園児が種まきをすする前 に、豊作を願う集いを開 き、栽培～収穫への意欲 を育てる。保育園の園児 が、作物を栽培し、育て た作物と同じ野菜を利用 し、5歳児がクッキングを 行い食べる。	各公立保育園、調 理員と保育士と の連携 ※一部の保育園では、地域 住民との連携 有り。	自分たちで育て たものを、友達 と一緒に調理 し、食べる喜び を味わうことで、 食に関心を持つ 。								園児が自分たちで栽培収穫 した野菜と同じ種類の野菜 を使用することで、栽培から 調理までを関連付けて取り 組むことができた。また、昔 手な野菜など、調理方法に よって食べられることに気が 付き、バランスのよい食生活 に向けた、ぎっかけ作りがで きた。クッキング保育の実施 後は家庭でも料理をつくるな ど、食への興味が広がった。 園児が日々の給食において も、より関心がもてるよう調 理員との交流や、また、家庭 での会話や知識の普及につ ながるよう食育を進めていく 。	園児へ食育を通して、 家庭での会話や知識 の普及につながるよ うなクッキング保育を 継続していく。		
				22園 (5歳児全 員参加)	22園 (5歳児全 員参加)	22園 (5歳児全 員参加)	22園 (5歳児全 員参加)	22園 (5歳児全 員参加)	園児が自分たちで栽培収穫 した野菜と同じ種類の野菜 を使用することで、栽培から 調理までを関連付けて取り 組むことができた。また、昔 手な野菜など、調理方法に よって食べられることに気が 付き、バランスのよい食生活 に向けた、ぎっかけ作りがで きた。クッキング保育の実施 後は家庭でも料理をつくるな ど、食への興味が広がった。 園児が日々の給食において も、より関心がもてるよう調 理員との交流や、また、家庭 での会話や知識の普及につ ながるよう食育を進めていく 。						
生涯学 習部 中央公 民館	成人対象事 業 「食育講座」	食に関する課題を踏ま え、講義や調理実習など をとおして、食に関する 知識や関心を高める。	東葛地区在宅 栄養士会	豊かで健全な食 生活を実践でき る									東葛地区在宅栄養士会の 協力により、講義と実習をセ ットにした講座を実施した。 具体的で取り組みやすい内 容に満足の声が多かった。 内容を充実させ、引き続き 実施していく。	継続実施予定	
					47人	45人	42人	59人	26人	東葛地区在宅栄養士会の 協力により、講義と実習をセ ットにした講座を実施した。 具体的で取り組みやすい内 容に満足の声が多かった。 内容を充実させ、引き続き 実施していく。					

2. 身体活動・運動

(1) 運動習慣の定着

① 運動習慣者の割合の増加

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23	H24	H25	H26	H27			
保健福祉部 障がい福祉課 支援センター	各種スポーツ教室の開催	＜JR野球教室＞ 市内中学校23校の中学2年生を対象に、JR東日本野球部の選手選をコナーチに招き開催 ＜バスケットボール教室＞ 市内ミニバスケットボールチームに所属している小学生を対象に日立サッポロカース/JX-ENEOSサンフラワーズの選手をコナーチに招き開催 ＜テニスボール教室＞ 実施希望のあった市内小学校を対象にYBC柏の選手をコナーチに招き開催 ＜ランニングクリニック＞ 市内在住・在勤・在学の方を対象に積水化学女子陸上競技部の選手をコナーチに招き開催	JR東日本野球部 日立サンロッツカース JX-ENEOSサンフラワーズ YBC柏 積水化学女子陸上競技部	市のスポーツを活性化し、まちづくりの推進 参加者の技術向上やホームタウンチームへの愛着を深めること	○	○	○	○	○	○	○	376人	1,349人	861人	689人	885人	ホームタウンチームと連携した事業を展開することで、市民が柏市への愛着を深めることにも、スポーツへの参加機会を増進し、スポーツを活性化するためのまちづくりを推進する。	
					67.0%	88.4%	73.1%	86.0%	-									
保健福祉部 障がい福祉課 支援センター	介護予防事業(運動でからだ元気塾)	要介護状態に陥る可能性のある高齢者に対し、専門職が、個々の身体機能に応じた運動内容を助言し、実践する。	地域包括支援センター	週に1回、6ヶ月間にわたり運動を行うことで、自身に必要な運動方法を理解し、運動習慣の定着が図れる。	○												市民が身近な地域で主体的にコロナ予防に取り組めるよう、自主活動の育成、地域リハビリテーション活動支援事業等を活用した継続的な支援等を行う予定。	
保健福祉部 福祉活動推進課	介護予防事業(ロコモフィットかわ)	市民の身近な地域において、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の予防に関する座学と運動指導を行う。	東京大学	市民が主体的にコロナ予防に取り組むことで、介護予防を推進する。	△												平成27年度より40～64歳までの柏市国民健康保険加入者も対象に加え、市内22会場、延参加人数も4,615人に増加した。ロコモ予防教室終了後の自主活動も16団体に増え、ロコモ予防の重要性に対する理解が深まり、市民が主体的に取り組んでいる。平成28年度は更に拡大し、市内25会場で実施する。	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取り組みについて	平成29年度の方角性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期				
保健所 地域健康づくり 課	地域ウォーク	＜地域ウォークキング講座＞ 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士、仲間づくりとウォークキングをはじめ、歩きかけづくりを図る ＜手賀沼ふれあいウォーク＞ 歩くことが好きな市民を増やす目的で開催する。	柏市民健康づくり推進員 市民ウォークキング団体 千葉県ウォークキング協会 我孫子市	○ ○ ○ ○ ○ △						地域健康講座(ウォークキング)・手賀沼ふれあいウォーク実施状況 H23 H24 H25 H26 H27 19回 13回 18回 16回 12回 地域健康講座実施回数 地域健康講座参加者数 594人 239人 274人 235人 251人 手賀沼ふれあいウォーク実施回数 1回 1回 1回 1回 1回 手賀沼ふれあいウォーク参加者数 982人 664人 773人 842人 1189人	地域活動により、ウォークキングの取組を実施。推進員任期の関係や天候により、例年より少ない開催となったが、一定程度定着している。仲間づくりにもなり、継続へのきっかけともなっている。次年度開催に向けた研修会を行った地域もあり、継続した実施が期待できる。 ・H27年度の手賀沼ふれあいウォークは、普段歩かないうちに多く参加してもらえよう。歩きやすいウォークコースの周知、親子層での参加に向けたPRを強化。結果、4キロコースは初参加の割合が高く、参加者も前年より増加した。子育て中でもある成人期の参加にもつながった。 ・H28年度も引き続き、運動に関心のない人が手軽にできる、身近な運動であるウォークキングに興味を持ってもらえよう計画・実施する。	地域の事情に合わせ、引き続き地域ウォークキング講座等を実施。 手賀沼ふれあいウォークは、身体を動かすことが楽しいと感じるきっかけとできるよう啓発を継続し、初参加・親子参加等を促していく。 また、歩きかけづくりだけでなく運動習慣が継続できることを効果的に推進できるように、検討し展開していく。	
保健所 地域健康づくり 課	地域運動講座	柏市民健康づくり推進員以外での運動講座	柏市民健康づくり推進員	○ ○ ○ ○						地域健康講座(ウォークキング以外の運動)実施状況 H23 H24 H25 H26 H27 1回 2回 4回 7回 10回 実施回数 参加者数 53人 118人 98人 257人 470人	地域ごとに多彩な運動講座を企画しており、地域間の情報共有も行ってきている。身体活動のきっかけとしてなっていると考えられる。 具体的な講座開催の目的・目標や対象者を明確にし、自標や対象者も継続して実施できるよう、計画立案を丁寧に行っていく。	運動習慣や運動時間の少ない人へのきっかけづくりとして実施することの必要性を共有しながら、継続して取り組んでいく。	
保健所 地域健康づくり 課	啓発事業 (*)	イベント等の中で運動会、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広い層を対象としたの啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	○ ○ ○ ○						平成27年は参加イベントの対象者層、啓発意識を高めるための参加体験型での啓発を実施。健康への気づき、取り組みへの動機付けを行うことができた。27年度重点課題「飲酒」については保健予防課と連携しチラシを作成し、啓発を強化した。「口腔」もクイズ形式で広い対象へのアプローチを実施した。 平成28年度は特に食と運動をテーマに無関心層に向けた取り組みを実施する。	イベント参加者層にあわせて健康づくりのきっかけとして、参加体験型による啓発の展開を他課と連携し、実施する。		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ			実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取組の成果、今後の課題と考察及び平成28年度取組の取り組みについて	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス																		
					高齢者	学童期	見守り期																						
生涯学習部スポーツ課	スポーツ施設予約システム	利用者の利便性を図る。	—	スポーツ施設利用者数の増加				<table border="1"> <tr> <th colspan="6">スポーツ施設利用者数</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>707,214人</td> <td>766,845人</td> <td>783,387人</td> <td>859,519人</td> <td>838,827人</td> <td></td> </tr> </table>	スポーツ施設利用者数						H23	H24	H25	H26	H27		707,214人	766,845人	783,387人	859,519人	838,827人		沿南体育館改修工事のため平成27年10月よりアリーナを閉場したことが減少した	システムを継続して運用していく。	
スポーツ施設利用者数																													
H23	H24	H25	H26	H27																									
707,214人	766,845人	783,387人	859,519人	838,827人																									
生涯学習部スポーツ課	学校体育施設開放	市民の地域におけるスポーツ活動の振興を図る。	市内各小中学校	利用者数の増加				<table border="1"> <tr> <th colspan="6">学校体育施設利用者数</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>あ人</td> <td>458,066人</td> <td>334,952人</td> <td>354,612人</td> <td>355,702人</td> <td></td> </tr> </table>	学校体育施設利用者数						H23	H24	H25	H26	H27		あ人	458,066人	334,952人	354,612人	355,702人		平成27年度より、申請書類がインターネットで入手できるようになった。平成28年度より、管理指導員を廃止し、総括管理責任者を全校に置いた。	市内全校で開放が実施となっているため、継続していく。総括管理責任者を通して団体との連携をとる。役割の明確化を図る。	
学校体育施設利用者数																													
H23	H24	H25	H26	H27																									
あ人	458,066人	334,952人	354,612人	355,702人																									
生涯学習部スポーツ課	スポーツ推進委員活動	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどをを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員会	参加者増加とスポーツ実施率の向上				<table border="1"> <tr> <th colspan="6">スポーツ推進委員活動参加者数</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3,450人</td> <td>4,336人</td> <td>2,876人</td> <td>2,528人</td> <td>3,002人</td> <td></td> </tr> </table>	スポーツ推進委員活動参加者数						H23	H24	H25	H26	H27		3,450人	4,336人	2,876人	2,528人	3,002人		推進委員の募集をホームページや広報を活用した。委員の増員をし、活動の充実を図る。平成28年度には、本市で研究大会が開催されるため、平成27年度より、準備を進めている。	継続して実施する。	
スポーツ推進委員活動参加者数																													
H23	H24	H25	H26	H27																									
3,450人	4,336人	2,876人	2,528人	3,002人																									
生涯学習部スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの育成	クラブが活動する拠点の確保や運営のためのスタッフの確保、クラブを知ってもらうための広報活動を支援します。	市内総合型地域スポーツクラブ	市内クラブの会員数の増加				<table border="1"> <tr> <th colspan="6">市内クラブ会員数</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1,206人</td> <td>875人</td> <td>1,131人</td> <td>995人</td> <td>1,315人</td> <td></td> </tr> </table>	市内クラブ会員数						H23	H24	H25	H26	H27		1,206人	875人	1,131人	995人	1,315人		各団体の活動場所について調整などを行うとともに広報活動により参加者の募集を行う。	継続して実施する。	
市内クラブ会員数																													
H23	H24	H25	H26	H27																									
1,206人	875人	1,131人	995人	1,315人																									
生涯学習部スポーツ課	スポーツ教室・講習会	スポーツへの参加を促進するため、市主催の事業の他体育協会や指定管理者によるスポーツ教室を開催します。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員会 他	参加者の増加	○	○	○	<table border="1"> <tr> <th colspan="6">スポーツ教室・講習会参加者数</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2,299人</td> <td>2,085人</td> <td>3,024人</td> <td>3,374人</td> <td>5,383人</td> <td></td> </tr> </table>	スポーツ教室・講習会参加者数						H23	H24	H25	H26	H27		2,299人	2,085人	3,024人	3,374人	5,383人		平成27年度にオンライン・ビッグ・パラリンピックに向け、「トップアスリートによる講演会及びスポーツ教室」については、ホームページやホームページの連携を図る。指定管理者による自主事業では、「柏市スポーツ施設情報誌」やホームページ、広報などの媒体を使い周知を図っている。	「トップアスリートによる講演会及びスポーツ教室」については、平成32年まで実施予定。様々な媒体を活用し周知の徹底を図る。	
スポーツ教室・講習会参加者数																													
H23	H24	H25	H26	H27																									
2,299人	2,085人	3,024人	3,374人	5,383人																									
生涯学習部スポーツ課	補助金の交付	スポーツ団体に対し補助金を交付することで、スポーツ事業の充実を図る。	柏市体育協会 柏市家庭婦人スポーツ協会 スポーツ少年団	交付団体の市民大会などの参加者の増加				<table border="1"> <tr> <th colspan="6">交付団体の市民大会などの参加者数</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>37,757人</td> <td>35,809人</td> <td>49,472人</td> <td>46,021人</td> <td>42,285人</td> <td></td> </tr> </table>	交付団体の市民大会などの参加者数						H23	H24	H25	H26	H27		37,757人	35,809人	49,472人	46,021人	42,285人		補助金の交付により、各種スポーツ事業の開催をスムーズに行うことができている。施設の規模などからすると、現状の参加者数が限度と考えられる。	継続して実施する。	
交付団体の市民大会などの参加者数																													
H23	H24	H25	H26	H27																									
37,757人	35,809人	49,472人	46,021人	42,285人																									

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度への取り組みについて	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期					高齢期
生涯学習部スポーツ課	新春マラソン大会	市民を対象としたマラソン大会を開催する。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員会 他	参加者の増加							平成27年度より、(一社)体育協会に全面委託を実施した。また、参加料の見直しを実施した。平成28年度は、実行委員として、スムーズな運営につながるよう補佐する。	参加者数の増加を手立てとして、市外からの参加者を募るかを検討中。		
生涯学習部スポーツ課	手賀沼エコマラソン大会	市民の健康増進と街の活性化及び手賀沼の浄化を図る。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員会 他	参加者の増加							平成27年度より申し込み方法をインターネットの一元化とした。また、ランナーの安全を最優先に考え、コース変更検討委員会を実施し、スタート時の混雑と16.9km地点折り返しの混雑の解消を検討する。平成28年度よりコースの一部変更を行う。併せて、市民枠を1,000名増加する。	平成28年度で22回大会を迎える。歴史的な大会であり、参加者(一般枠)の増加を検討する。		
生涯学習部中央公民館	成人教育事業「いきいき健康ライフ講座(ウォーキング)」	運動をとおして健康の増進を図る方法を学ぶ	ウォーキングサポート柏	運動することの喜びや運動に対する達成感を味わう		○	○	○			いきいき健康ライフ講座参加者			
生涯学習部中央公民館	成人教育事業「いきいき健康ライフ講座」	運動をとおして健康の増進を図る方法を学ぶ		運動することの喜びや運動に対する達成感を味わう		○	○	○			いきいき健康ライフ講座参加者		継続実施予定	
学校教育部指導課	学校体育の促進関連事業	①「新体力テスト」の実施 市内小中学校児童生徒・児童等計8項目 ②「小学校体育授業サポート事業」 小学校10校・特別支援学校を中心とした体育の授業支援 ③「運動部活動指導者派遣事業」 中学校運動部活動・専門的な指導ができる運動部活動指導者の派遣	千葉県小中学校体育連盟柏校体育連盟柏校支部	①児童生徒の体力向上 ②支援を必要とする児童の運動への意欲・技能の向上 ③運動部活動に加入している生徒の意欲・技能の向上				△			①に關しては、半数以上の項目が全国平均以上となり、一定の成果はあがっている。次年度以降も結果分析と対策を各校に周知し、体力向上を目指したい。②に關しては、NPOの専門スタッフを配置している10校から高い満足度を得ている。③に關しては、外部指導者を市内全中学校に配置している。専門外の顧問も多いため、指導者からの専門的な指導により、意欲・技能が向上している事例が多数見受けられる。	継続実施予定		

所管課 学校教 育部 教育研 究所	事業名 幼児教育の 推進(柏市幼 児教育共同 研究)	事業概要 (対象者・内容等) 幼児教育の今日的課題 をもとに、研究テーマ(運 動遊び)を設定し、教育 委員会と市内全幼稚園・ 全保育園が共同で実践 研究を実施。	連携機関 教育委員会 市内全幼稚園 市内全保育園	期待する効果 教職員の力量と 専門性の向上 幼児の体力・運 動能力の基礎 を培う	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今 後の課題と考察及び平成28年度 の取り組みについて	平成28年度の方向性  継続して実施する。	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	児童期	思春期	青年期				
									実施幼稚園数 H23 H24 H25 H26 H27 34園 34園 33園 33園 33園	平成27年度は、運動遊びを 3~4のカテゴリーに分け、子 どもの実態に合わせて工夫 しながら運動遊びを各園で 取り組んだ。また、平日の運 動時間と生活習慣の関連を 調べることで、1日60分以上 の遊びは生活習慣にも影響 していることがわかった。 平成28年度は運動遊びの 充実を重点に取り組んでい く。			
									実施幼稚園児数 5,872人 5,804人 5,782人 5,633人 5,574人				
									実施保育園数 10園 38園 41園 51園 56園				
									実施保育園児数 316人 1,616人 1,733人 1,866人 2,013人				

(2) 身体活動・運動に取り組みややすい環境づくり

② 1日の歩行時間の増加

③ 地域活動やボランティア活動への参加意識向上

所管課	事業名 *は再掲事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																													
					高齢期	学童期	児童期	成人期	壮年期				高齢期																																												
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (*)	イベント等の中で運動、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広い層にわたる啓発を行う。	庁内関係各課 市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュラーなアクションプログラムを実施することにより、健康に関する意識を高める。	0	0	0	0	0	0	<table border="1"> <tr> <th colspan="5">啓発実施者数(全数)</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>-</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6,108人</td> <td>5,235人</td> <td>-</td> </tr> </table>	啓発実施者数(全数)					H23	-	H24	H25	H26	H27	-	-	-	6,108人	5,235人	-	平成27年度は参加イベントの対象者、啓発意識を高めるための参加体験型での啓発を実施。健康への気づきを取り組むための動機付けを行うことができた。27年度重点課題「就労」については保健予防課と連携しチラシを作成し、啓発を強化した。「人口減少」もアブロード形式で広い対象者へのアプローチを実施した。平成28年度は特に食と運動をテーマに無関心層に向けた取り組みを実施する。																												
					啓発実施者数(全数)																																																				
H23	-	H24	H25	H26	H27																																																				
-	-	-	6,108人	5,235人	-																																																				
保健所 地域健康づくり課	地域ウォーク (*)	＜地域ウォーク＞ 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の間でウォークを始めるきっかけづくりを図る。 ＜手賀沼ふれあいウォーク＞ 歩くことが好きな市民を増やす目的で開催する。	柏市民健康づくり推進員 市民ウォーク推進員 ウォーク協会 千葉県ウォーク協会 我孫子市	歩くことが好きな市民が増える。 市民が運動を始めるきっかけとなる。	0	0	0	0	△	<table border="1"> <tr> <th colspan="5">地域健康講座(ウォーク)・手賀沼ふれあいウォーク実施状況</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>19回</td> <td>13回</td> <td>18回</td> <td>16回</td> <td>12回</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">地域健康講座参加者数</th> </tr> <tr> <td>594人</td> <td>239人</td> <td>274人</td> <td>235人</td> <td>251人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">手賀沼ふれあいウォーク実施回数</th> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">手賀沼ふれあいウォーク参加者数</th> </tr> <tr> <td>982人</td> <td>664人</td> <td>773人</td> <td>842人</td> <td>1,189人</td> </tr> </table>	地域健康講座(ウォーク)・手賀沼ふれあいウォーク実施状況					H23	H24	H25	H26	H27	19回	13回	18回	16回	12回	地域健康講座参加者数					594人	239人	274人	235人	251人	手賀沼ふれあいウォーク実施回数					1回	1回	1回	1回	1回	手賀沼ふれあいウォーク参加者数					982人	664人	773人	842人	1,189人	地域の表情に合わせた、引き続き地域ウォークを推進し、手賀沼ふれあいウォークは、身体を動かすことが楽しいと感じるきっかけとできるような啓発を継続し、初参加・親子参加等を促していく。 また、きっかけづくりだけでなく運動習慣が継続できることを効果的に推進できるよう検討し展開していく。	
				地域健康講座(ウォーク)・手賀沼ふれあいウォーク実施状況																																																					
H23	H24	H25	H26	H27																																																					
19回	13回	18回	16回	12回																																																					
地域健康講座参加者数																																																									
594人	239人	274人	235人	251人																																																					
手賀沼ふれあいウォーク実施回数																																																									
1回	1回	1回	1回	1回																																																					
手賀沼ふれあいウォーク参加者数																																																									
982人	664人	773人	842人	1,189人																																																					
生涯学習部 スポーツ課	スポーツ推進委員活動 (*)	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員協議会	参加者増加と、スポーツ実施率の向上	<table border="1"> <tr> <th colspan="5">スポーツ推進委員活動参加者数</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>3,450人</td> <td>4,336人</td> <td>2,878人</td> <td>2,528人</td> <td>3,002人</td> </tr> </table>	スポーツ推進委員活動参加者数					H23	H24	H25	H26	H27	3,450人	4,336人	2,878人	2,528人	3,002人	推進委員の募集をホームページや広報を活用した。委員の増員をし、活動の充実を図る。平成28年度には、本市で研究大会が開催される。平成27年度より、準備を進めている。	継続して実施する。																																			
スポーツ推進委員活動参加者数																																																									
H23	H24	H25	H26	H27																																																					
3,450人	4,336人	2,878人	2,528人	3,002人																																																					

3. 休養・こころの健康

(1) 睡眠等による十分な休養の確保																																																					
①睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少																																																					
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取り組みについて	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																								
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期					高齢期																																							
保健所 保健予防課	こころの病気の啓発・普及活動 (出前講座) こころの健康について講座形式で、正しい知識の普及と啓発を行う。 (市民講座) 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及と啓発を行う。	—	より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。							<table border="1"> <tr> <th colspan="5">出前講座参加者数</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>延203人</td> <td>延339人</td> <td>延228人</td> <td>延224人</td> <td>延365人</td> </tr> <tr> <th colspan="5">市民講座参加者数</th> </tr> <tr> <td>71人</td> <td>80人</td> <td>—</td> <td>53人</td> <td>77人</td> </tr> </table>	出前講座参加者数					H23	H24	H25	H26	H27	延203人	延339人	延228人	延224人	延365人	市民講座参加者数					71人	80人	—	53人	77人	市民講座は直接睡眠をテーマに実施はしていないが、出前講座メニューの一つであるストレスについて依頼があったので、良質な睡眠についても引き続き、内容に応じた情報提供をしていく。	継続実施予定																
出前講座参加者数																																																					
H23	H24	H25	H26	H27																																																	
延203人	延339人	延228人	延224人	延365人																																																	
市民講座参加者数																																																					
71人	80人	—	53人	77人																																																	
(2) 上手なストレス解消																																																					
②ストレスを感じた人の割合の減少																																																					
保健福祉部 福祉政策課	柏フレイル予防プロジェクト2025(*)	「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置、運営しながら、健康づくり事業の効果的な運動と地域の基盤とした市民主体の活動を推進	医師会、薬剤師会、東京大協議会、福祉協議会、市民生委員、柏市民健康づくり推進委員、スゴ一ツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)						<table border="1"> <tr> <th colspan="5">実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="5">出前講座参加者数</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>延203人</td> <td>延339人</td> <td>延228人</td> <td>延224人</td> <td>延365人</td> </tr> <tr> <th colspan="5">市民講座参加者数</th> </tr> <tr> <td>71人</td> <td>80人</td> <td>—</td> <td>53人</td> <td>77人</td> </tr> </table>	実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					H23	H24	H25	H26	H27						出前講座参加者数					H23	H24	H25	H26	H27	延203人	延339人	延228人	延224人	延365人	市民講座参加者数					71人	80人	—	53人	77人	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取り組みについて	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス
実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)																																																					
H23	H24	H25	H26	H27																																																	
出前講座参加者数																																																					
H23	H24	H25	H26	H27																																																	
延203人	延339人	延228人	延224人	延365人																																																	
市民講座参加者数																																																					
71人	80人	—	53人	77人																																																	
保健福祉部 福祉政策課	こころの病気の啓発・普及活動(*)	<出前講座> こころの健康について講座形式で、正しい知識の普及と啓発を行う。 <市民講座> 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及と啓発を行う。	—	より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。						<table border="1"> <tr> <th colspan="5">実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="5">出前講座参加者数</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>延203人</td> <td>延339人</td> <td>延228人</td> <td>延224人</td> <td>延365人</td> </tr> <tr> <th colspan="5">市民講座参加者数</th> </tr> <tr> <td>71人</td> <td>80人</td> <td>—</td> <td>53人</td> <td>77人</td> </tr> </table>	実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					H23	H24	H25	H26	H27						出前講座参加者数					H23	H24	H25	H26	H27	延203人	延339人	延228人	延224人	延365人	市民講座参加者数					71人	80人	—	53人	77人	平成27年度は、市内関係課や関係機関と「フレイル」予防に関する協議を重ね、年度末に柏フレイル予防プロジェクト2025推進委員会を設置した。 平成28年度は同委員会において目標設定やそれに向けた事業のあり方を議論し、実施していく。 平成28年度中に設定する目標や事業計画の達成に向け、各施策を推進する。	継続実施予定	
実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)																																																					
H23	H24	H25	H26	H27																																																	
出前講座参加者数																																																					
H23	H24	H25	H26	H27																																																	
延203人	延339人	延228人	延224人	延365人																																																	
市民講座参加者数																																																					
71人	80人	—	53人	77人																																																	



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ				実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)				平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス		
					乳幼児期	学童期	児童期	青年期	高齢期	精神科医による相談数(回数)						
保健所 保健予 防課	本人・家族の 相談・訪問支 援等	<こころの健康相談> 精神科嘱託医や職員に よるこころの健康に関す る相談。	—	精神的な問題を 抱えた本人や家 族を支援し、生 活の質の向上 を目指す。	○	○	○	○	○	電話相談件数は昨年度より 減少したが、面談や訪問は 増加した。平成28年度も身 近な電話相談に随時対応し ていく。また、家族や支援者 も含め上手なストレス解消 のアドバイスを行っていく。				継続実施予定		
こども部 子育て 支援課 生涯学 習図書 館 保健所 地域健 康づくり 課	ブックスター 事業	市民ボランティアが1歳6 か月健診の受診親子に 対し、親子の優しいこと ばかけやふれあいが子 どもの心の成長や言葉 の発達に大切であり、絵 本を紹介することにより、絵 本を介する時間や機会が持 ちやすくなること伝える。 親子で絵本を聞く楽しい 体験をしていただき、絵 本をお渡ししている。	柏市ふれあい ブックスター の会	絵本を通じ、親 子やふれあいの や保護者の心 安らぐ時間をつ くり、子どもの豊 かな心を育む ことばかけや ふれあいに り、愛される経 験を積み重ね る機会が持た れることばが 形づくりに り、乳幼児の健 全な成長を図る	○	○	○	○	○	平成27年度は、延べ575人 のボランティアが参加し、ブ ックスター事業を実施(受 診者対象のうち99.6%がメッ セージの受け取り)。平成28 年度は、事業を継続しなが ら、今後の事業のあり方に ついて、関係課及び連携機 関で協議検討を予定。				平成28年度の協議検 討結果に基づき、平 成29年度の方向性を 決定する。		
こども部 子育て 支援課 こども部 休育連 帯管理 課	地域子育て 支援拠点事 業	乳幼児及びその保護者 が相互の交流を行う場 所を開設し、子育てにつ いての相談、情報の提供 、助言その他の援助を行 う事業(児童福祉法第6 条の3第6項に規定され る事業)		子育て中の親 子の孤立や子 育てに対する不 安の減少。	○					地域子育て支援事業延利用者数 H23 H24 H25 H26 H27 99,965人 120,719人 115,200人 117,382人 117,956人				前年より比べ延利用者数は伸 びた。交流等の場としての 役割は年々増してきている ものと考えられる。利用率向 上に向けて周知を強化する ため、HPをリニューアルした 。また、質の向上を図ること を目的に、事業に従事して いる者に対して研修の機会 を提供した。 28年度は新たに拠点を3ヶ 所整備し、異なる子育て環 境の充実を図る予定。	柏市子ども子育て支 援事業計画に基づ き、地域バランスや利 便性を考慮した整備 を検討する。また、継 続して研修機会を確 保する。	
生涯学 習部 中央公 民館	高齢者教育 事業 (前期)全5 回 「健康でいき いき人生」	高齢者に積極的に学習 の場に参加してもらった ため、多分野にわたる新鮮 な情報を提供し、健康で 明るい暮らしや生きがい を探しを支援する。	—	・生きがいづくり や仲間づくり ・健康維持・増 進を図り、健康 で楽しい日々を 過ごせる						講座実施状況 H23 H24 H25 H26 H27 実施回数 5回 5回 5回 5回 5回 211人 157人 159人				講義と体験を組み合わせ て実施した。引きこもりがちな 高齢者の生活を、講座に出 向くことで様々なことに関心 を持ってもらい、生きがい探 しの支援を目的とした講座 である。28年度も引き続き実 施していく。	継続実施予定	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ			実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と今後の取り組みについて	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス																								
					乳幼児期	学童期	思春期																												
生涯学習部 中央公民館	家庭教育事業 「子育てを考 える親の集 い」	子育て支援を目的とした 「柏市私立幼稚園協会」 との連携事業。直面する 課題をテーマに講演会を 実施。子ども・家族・自分 自身を見つめ直し、新た な一歩を踏み出すきつ けづくりを目指す。	柏市私立 幼稚園協会	子育て中の親 子の孤立や子 育てに対する不 安の解消				<table border="1"> <tr> <td colspan="3">講座実施状況</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td colspan="3">実施回数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td colspan="3">参加者数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>320人</td> <td>262人</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">385人</td> </tr> </table>	講座実施状況			H23	H24	H25		1回	1回	実施回数				1回	1回	参加者数				320人	262人		385人		子育て支援として、子ども の発達段階に応じたかわり 方についての学習は極めて 重要であることから、28年度 も継続して実施していく。	継続実施予定	
講座実施状況																																			
H23	H24	H25																																	
	1回	1回																																	
実施回数																																			
	1回	1回																																	
参加者数																																			
	320人	262人																																	
	385人																																		
生涯学習部 中央公民館	地域づくり事 業 「子育てを考 える親の集 い」	子育て中の親が抱えて いる様々な問題に対して 共感・協力・提案するとと もに、親同士の交流の場 を提供する。	市民活動団体	子育て中の親 子の孤立や子 育てに対する不 安の解消				<table border="1"> <tr> <td colspan="3">講座実施状況</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">実施回数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td colspan="3">参加者数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>77人</td> </tr> </table>	講座実施状況			H23	H24	H25				実施回数					1回	参加者数								77人	子育て中の保護者を対象に 実施した。日曜日に開催し たことと、保育を実施したこ とで、参加者を増やす取組 みとなった。	28年度の実施状況を 見極め、事業を継承 しながら、柏市の現状 にあった内容を検討 していく。	
講座実施状況																																			
H23	H24	H25																																	
実施回数																																			
		1回																																	
参加者数																																			
		77人																																	
生涯学習部 沼南公民館 H28～ 中央公民館	高齢者教育 事業 いきいきセミ ナー	高齢者が健康でより充実 した豊かな人生を送るた め地域の方々と交流を 深め互いに学ぶことによ り、良好な人間関係を築 き社会的能力を高めた まぐろの移動移り変わる社 会に順応できる能力を養 う。	—	講座で学んだこ とを、生活の中 で取り入れても らい、健康で長 生きをする。				<table border="1"> <tr> <td colspan="3">講座実施状況</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5回</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td colspan="3">実施回数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>104人</td> <td>171人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">参加者数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>69.33%</td> <td>81.43%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>87.92%</td> <td>95.63%</td> </tr> </table>	講座実施状況			H23	H24	H25		5回	7回	実施回数				104人	171人	参加者数				69.33%	81.43%		87.92%	95.63%	受講者の意見を取り入れな がら、生活に役立つ実技か ら地域の歴史探訪まで、高 齢者の抱える課題解決を目 指し、多岐にわたる学習を 展開した。28年度は、中央公民館で事 業を継承していく。	継続実施予定	
講座実施状況																																			
H23	H24	H25																																	
	5回	7回																																	
実施回数																																			
	104人	171人																																	
参加者数																																			
	69.33%	81.43%																																	
	87.92%	95.63%																																	

(3)自殺予防対策

③自殺者数の減少

事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実施値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス
				小学生期	学童期	児童期	青少年期	高齢期			
保健福祉部 保健福祉総務課	自殺予防対策事業 自殺者の減少を目的として、各関係機関との情報共有の場である自殺予防対策連絡会議を開催	庁内関係部局、医師会、民生委員児童会、柏葉大学、柏葉工業労働者福祉協議会等	自殺者の減少	○	○	○	○	○	平成27年度は、年1回自殺予防対策連絡会議を開催し、各団体間の情報共有を図ることが出来た。また、連絡会議の下に組織している各ワーキンググループは廃止し、各関係機関と連携をとって各対策を実施していく。 平成28年度については、自殺予防対策連絡会議は引き続き実施していく。		
保健福祉部 保健福祉総務課	普及啓発・相談事業・人材育成・遺族支援・こころの健康づくり・医療連携の各事業を柱として、二次予防(事前予防)・三次予防(危機対応)・三次予防(事後対応)の観点から対策を実施	庁内関係部局、医師会、民生委員児童会、柏葉大学、柏葉工業労働者福祉協議会等	自殺者の減少	○	○	○	○	○	平成27年度は、普及啓発、相談窓口設置、ゲートキーパー研修、教員向け・医療従事者向けの研修等を継続して実施した。 平成28年度については、関係機関と連携をとって、自殺対策を推進していく。		
保健福祉部 保健福祉総務課	本人・家族の相談・訪問支援等(*) <こころの健康相談> 精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。	—	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し、生活の質の向上を目指す。	○	○	○	○	○	電話相談件数は昨年度より減少したが、面談や訪問は増加した。相談内容は多岐に渡り複雑化している。支援者に対し、希死念慮がある人への相談対応の研修を実施した。平成28年度は、支援者に対して、事例検討を取り入れた研修を2回実施予定。		



4. 喫煙

(1) 喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及

① 喫煙率の減少

② 禁煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する認識をもつ成人の割合の増加

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	高齢期																																					
保健所 地域健康づくり課	タバコ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモツ子作戦協議会会議</li> <li>・禁煙補助剤体験事業</li> <li>・柏ノースモツ子作戦出張講座</li> <li>・タバコ講演会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会</li> <li>・歯科医師会</li> <li>・薬剤師会</li> <li>・タバコ問題を考える会・千葉</li> <li>・学校</li> <li>・PTA</li> <li>・私立幼稚園協会</li> <li>・商工会議所</li> <li>・主任児童委員</li> <li>・柏市民健康づくり推進員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙をする市民が増える</li> <li>・喫煙をしない市民が減る</li> <li>・学校の周囲で喫煙する大人が減る</li> </ul>	○	○	○	○	○	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">禁煙補助剤体験者数</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>97人</td> <td>115人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">出張講座実施校数</th> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>239人</td> <td>203人</td> <td>64人</td> <td>115人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">22校</th> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>27校</td> <td>29校</td> <td>18校</td> <td>16校</td> </tr> </table>	禁煙補助剤体験者数		H23	H27	97人	115人	出張講座実施校数		H24	H25	H26	H27	239人	203人	64人	115人	22校		H24	H25	H26	H27	27校	29校	18校	16校	<p>平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙補助剤事業の申し込み方法の見直しにより利用者の増加が見込めた。また、禁煙支援薬局の薬剤師によるフオロアプツにより、継続した禁煙に効果をもたせられた。28年度は世界禁煙デー、禁煙週間に合わせ実施し、効果的な啓発をねらう。</li> <li>・小学校4年から中学校3年を対象に各学年に合わせた「柏ノースモツ子新聞」を発行する機会があるため、28年度に掲示場所の状況把握を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤師会と連携し、禁煙支援薬局の周知・啓蒙の協力を行う。</li> <li>・「柏ノースモツ子新聞」の内容および効果的な啓発方法の検討を行う。</li> </ul>								
		禁煙補助剤体験者数																																												
H23	H27																																													
97人	115人																																													
出張講座実施校数																																														
H24	H25	H26	H27																																											
239人	203人	64人	115人																																											
22校																																														
H24	H25	H26	H27																																											
27校	29校	18校	16校																																											
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (*)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモツ子作戦協議会会議</li> <li>・禁煙補助剤体験事業</li> <li>・柏ノースモツ子作戦出張講座</li> <li>・タバコ講演会</li> <li>・幼稚園協会保護者向けリーフレット作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内関係各課</li> <li>・柏市民健康づくり推進員</li> <li>・各種団体及び企業関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広いライフステージの市民を対象にポピュラーなメッセージを作成することによって健康に関する気づきの場を作る。</li> </ul>	○	○	○	○	○	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">タバコ講演会実施回数</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>-</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">タバコ講演会参加者数</th> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>14</td> <td>50</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">啓発実施者数(全数)</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6,109</td> <td>5,235人</td> </tr> </table>	タバコ講演会実施回数		H23	H24	H25	H26	H27	-	-	1回	1回	-	タバコ講演会参加者数		H24	H25	H26	H27	-	-	14	50	啓発実施者数(全数)		H23	H24	H25	H26	H27	-	-	-	6,109	5,235人	<p>たばこの害や受動喫煙について正しい認識をもてるよう、効果的な啓発をしていく。</p>	<p>イベント参加者層にあわせて健康づくりのきつかけとして、参加体験型による啓発の展開を他課と連携し、実施する。</p>
		タバコ講演会実施回数																																												
H23	H24	H25	H26	H27																																										
-	-	1回	1回	-																																										
タバコ講演会参加者数																																														
H24	H25	H26	H27																																											
-	-	14	50																																											
啓発実施者数(全数)																																														
H23	H24	H25	H26	H27																																										
-	-	-	6,109	5,235人																																										
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (*)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等の中で運動食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広い層に向けた啓発を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内関係各課</li> <li>・柏市民健康づくり推進員</li> <li>・各種団体及び企業関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広いライフステージの市民を対象にポピュラーなメッセージを作成することによって健康に関する気づきの場を作る。</li> </ul>	○	○	○	○	○	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">啓発実施者数(喫煙)</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6,109</td> <td>5,235人</td> </tr> </table>	啓発実施者数(喫煙)		H23	H24	H25	H26	H27	-	-	-	6,109	5,235人	<p>平成27年は参加イベントの対象層、啓発意識を高めるための参加体験型での啓発を実施。健康への気づき、取り組みへの動機付けを行うことができた。27年度重点課題「飲酒」については健康予防課と連携しチラシを作成し、啓発を強化した。「口煙」もアプツ形式で広い対象へのアプツ子を実施した。平成28年度は食と運動をテーマに無関心層に向けた取り組みを中心とするが、喫煙に関する啓発も実施する。</p>	<p>イベント参加者層にあわせて健康づくりのきつかけとして、参加体験型による啓発の展開を他課と連携し、実施する。</p>																						
		啓発実施者数(喫煙)																																												
H23	H24	H25	H26	H27																																										
-	-	-	6,109	5,235人																																										

(2) 受動喫煙の防止

③ 受動喫煙の機会を有する人の割合の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取り組みについて	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					年少期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 地域健康づくり課	タバコ対策 (※)	・柏ノースモツ子作戦協議会 ・柏ノースモツ子作戦出張講座 ・タバコ講演会 ・禁煙・分煙ありがとう店登録店制度 ・幼稚園協会保護者向けリーフレット作成	・医師会 ・歯科医師会 ・薬剤師会 ・タバコ問題を考える会 ・干渉者会 ・商工会議所 ・環境サービース ・地域支援課	受動喫煙による健康被害の減少	○	○	○	○	○	○	H23 -	H24 230店	H25 223店	H26 171店	H27 93店	「禁煙分煙ありがとう店」の実態調査を実施およびHPにて店舗の周知を行った。登録店舗が半減しており、今後の方向性の検討が課題。	受動喫煙による被害を減少できるよう、飲食店等の登録管理方法の検討。	
					○	○	○	○	○	○	H23 -	H24 -	H25 -	H26 6,109人	H27 5,235人			
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (*)	イベント等の中で運動会、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーママについて啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にホビュレーションシアターを手をすることでき、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	H23 -	H24 -	H25 -	H26 1,661人	H27 50人	平成27年度の取り組みとしては、大津ヶ丘にてほい捨て防止横断幕を設置するとともに、路面シールの材質変更を行い、ほい捨て防止の啓発に努めた。最近、電子タバコの普及が著しく、各市での対応がまちである。そのため、平成28年度では近隣市との電たばこの取扱いについて協議を行い、併せて立看板を設置している一部を電柱広告に変更する。	・東京オリンピックにおけるほい捨て関連情報の収集及び近隣の情報共有等 ・啓発物を用いた柏市ほい捨て等防止条例の周知及び路上喫煙等防止パトロールを実施し、路上喫煙やほい捨てごみの減少	
					△	○	○	△	△	△	806件	H24 301件	H25 326件	H26 169件	H27 275件			

(3) 禁煙の支援

④ 禁煙達成率

⑤ 成人の禁煙外来における保険適用に関する認知率

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ			実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					65歳以上	40歳以上 64歳未満	若年層	H23	H24	H25	H26	H27			
保健所 地域健康づくり課	成人の禁煙外来 タバコ対策 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙補助剤体験事業</li> <li>禁煙外来をHPで公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬剤師会</li> <li>医師会</li> </ul>	禁煙する市民が増える				97人	239人	203人	64人	115人	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取り組みについて</li> <li>申込み方法の見直しにより利用者の増加が見込めた。また、禁煙支援薬局の薬剤師によるフォローアップにより、継続した禁煙に効果をもたらした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬剤師会と連携し、身近な禁煙支援機関である禁煙支援薬局の周知を強化し、気軽に禁煙相談ができる環境づくりを推進する。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙外来をHPで公開</li> <li>禁煙補助剤体験申し込み者に一覧を渡す</li> <li>柏市国保特定健診受診者へ啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師会</li> <li>保険年金課</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な医療機関で保険による禁煙指導が受けられることを知る</li> </ul>	市内禁煙外来実施施設数	24件	25件	25件	28件	33件	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙外来をHPで公開</li> <li>柏市特定健診受診者へ啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙を希望する市民が禁煙につながるようなサポート体制を充実</li> </ul>			

(4) 未成年者の喫煙防止

⑥ 喫煙経路改革

⑦ 喫煙願望改革

⑧ 周知で喫煙する大人の存在率

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						出張講座実施校数	平成27年度取組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取組みについて	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					幼児期	学童期	思春期	未成年	青年期	高齢期								
保健所 地域健康づくり課	タバコ対策 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモツ子作戦出張講座実施</li> <li>・柏ノースモツ子新聞発行</li> <li>・小中学校タバコに関するアンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校</li> <li>・学校保健課</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生の喫煙経験率が減る</li> <li>・小中学生の「タバコがかっこいい」と思う割合が減る</li> <li>・タバコの害について正しく知ることができる</li> </ul>	<p>出張講座実施校数</p> <table border="1"> <tr><td>H23</td><td>22校</td></tr> <tr><td>H24</td><td>27校</td></tr> <tr><td>H25</td><td>29校</td></tr> <tr><td>H26</td><td>18校</td></tr> <tr><td>H27</td><td>16校</td></tr> </table>	H23	22校	H24	27校	H25	29校	H26	18校	H27	16校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校実施に向け学校側が出張講座を依頼しやすいよう体制整備を行った。しかし、実施数は減少。薬物乱用教室や他の出前講座と合わせて禁煙教育を実施している学校が多く、禁煙教育の実施状況の把握が課題。</li> <li>・小中学校4年から中学校3年を対象に各学年に合わせた「柏ノースモツ子新聞」を発行し、新聞の掲示場所によって見る機会の差があるため、28年度に掲示場所の状況把握を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙教育の実施状況の把握及び子どもたちが正しい選択をできるようなアプローチの継続</li> </ul>	
		H23	22校															
H24	27校																	
H25	29校																	
H26	18校																	
H27	16校																	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモツ子作戦出張講座実施</li> <li>・柏ノースモツ子新聞発行</li> <li>・小中学校タバコに関するアンケート</li> <li>・幼稚園協会保護者向けリーフレット作成</li> <li>・タバコ講演会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校</li> <li>・学校保健課</li> <li>・幼稚園協会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコの害について正しく知る大人が増える</li> <li>・禁煙する大人が増える</li> </ul>	<p>出張講座実施校数</p> <table border="1"> <tr><td>H23</td><td>22校</td></tr> <tr><td>H24</td><td>27校</td></tr> <tr><td>H25</td><td>29校</td></tr> <tr><td>H26</td><td>18校</td></tr> <tr><td>H27</td><td>16校</td></tr> </table>	H23	22校	H24	27校	H25	29校	H26	18校	H27	16校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校実施に向け学校側が出張講座を依頼しやすいよう体制整備を行った。しかし、実施数は減少。薬物乱用教室や他の出前講座と合わせて禁煙教育を実施している学校が多く、禁煙教育の実施状況の把握が課題。</li> <li>・小中学校4年から中学校3年を対象に各学年に合わせた「柏ノースモツ子新聞」を発行し、新聞の掲示場所によって見る機会の差があるため、28年度に掲示場所の状況把握を行う。</li> <li>・私立幼稚園協会の加入の園33園の保護者へ、受動喫煙のリーフレットを配布した。継続してリーフレットを配布していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコの害や受動喫煙について正しい認識をもてるよう、効果的な啓発をしていく</li> </ul>		
H23	22校																	
H24	27校																	
H25	29校																	
H26	18校																	
H27	16校																	



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取り組みについて	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	青年期	壮年期					高齢期
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (* )	イベント等の中で運動食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広い層に到達するための取り組みを行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び各種企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にホビエーションアプリをすること で健康に関する気づきの場を作る。	乳幼児期	学童期	思春期	青年期	壮年期	高齢期	平成27年度は参加イベントの対象層、啓発意識を高めるための参加体験型での啓発を実施。健康への気づき、取り組みへの動機付けを行うことができた。27年度重点課題「飲酒」については保健予防課と連携しチラシを作成し、啓発を強化した。「口腔」もクイズ形式で広い対象へのアプローチを実施した。平成28年度は食と運動をテーマに無関心層に向けた取り組みを中心とするが、喫煙に関する啓発も含め実施する。	イベント参加者層にあわせて健康づくりのきっかけとして、参加体験型による啓発の展開を他課と連携し、実施する。		
					啓発実施者数(全数)	H23	H24	H25	H26	H27				H23
					0	0	0	0	0	0	6,109人	5,235人	1,681人	50人



(3) 未成年者の飲酒防止

③ 未成年者の飲酒経験率の減少

保健所 地域健康 づくり課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度の取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度 の取り組みについて	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス			
					幼児期	児童期	思春期	成年期	高齢期							
保健所 地域健康 づくり課	啓発事業 (*)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすること で健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	△	△	啓発実施回数(全数)	平成27年は参加イベントの対象層、啓発意識を高めるための参加体験型での啓発を実施。健康への気づき、取り組みへの動機付けを行うことができた。27年度重点課題「飲酒」については保健予防課と連携しチラシを作成し、啓発を強化した。「口腔」もクイズ形式で広い対象へのアプローチを実施した。平成28年度は飲酒関係の啓発を継続実施、特に食と運動をテーマに無関心層に向けた取り組みを実施する。	イベント参加者層にあわせ健康づくりのきつかけとして、参加体験型による啓発の展開を地道と連携し、実施する。				
					○	○	○	△	△					H23	H24	H25
										啓発実施者数(飲酒)						
										H23	H24	H25	H26	H27		
													0人	580人		

6. 歯・口腔の健康

(1) 歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及

① 3歳児でむし歯がない人の割合の増加

② 12歳児のDMF歯数の減少

③ 歯肉炎を有する(歯周疾患患者を含む)人の割合の減少

所管課	事業名 *は関係事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期			
保健所 地域健康づくり課	子育て支援事業(母と子どものつどい)	妊婦、1歳6月頃くらいまでの乳幼児と保護者を対象に、市内20地域で実施 歯・口腔に関するワンポイント啓発、歯科相談	柏市民健康づくり推進員	・甘味食品や飲料を習慣化する割合の減少 ・歯みがき(仕上げみがき)の習慣化 ・かかりつけ歯科医を持つている割合の増加				△		H23 9,499人 H24 6,543人 H25 6,710人 H26 6,189人 H27 6,600人	平成29年度の方向性 引き続き、家族ぐるみでの口腔の健康づくりに取り組めるよう正しい情報を提供する。	
保健所 地域健康づくり課	2歳の歯☆ピカランド及びフッ化物歯面塗布事業	<歯☆ピカ> 2歳児の親子を対象に食生活を含むむし歯予防の啓発及び歯みがき指導 <フッ化物> 2.6歳対象に医療機関にてフッ化物歯面塗布によるむし歯予防事業(無料受診券全対象者郵送)	柏歯科医師会 柏市医師会	・フッ化物配合歯みがき剤の利用率の増加 ・かかりつけ歯科医を持つ者の増加 ・定期健診を受ける者の増加				△	3歳児健診受診状況 H23 3,863人 H24 3,810人 H25 3,791人 H26 3,699人 H27 3,566人 対象者数 歯科受診者数 H23 3,450人 H24 3,344人 H25 3,400人 H26 3,292人 H27 3,231人 健診者率 H23 78.6% H24 79.3% H25 82.7% H26 81.0% H27 80.5%	全体の受診率が低下してきているため、受診率向上のPRや参加されない方への啓発を検討する。		

所管課	事業名 *は指導事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度の取り組みについて	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期				
保健所 地域健康づくり課	母子歯科保健事業「歯っぴいカムカムかしわっ子作戦!!!」	<p>＜地域における依頼の支援教育＞            子育て支援センター、地域サロンにおいて、「育児講座」などとして地域の乳幼児をもつ保護者を対象にむし歯予防の啓発及び歯みがき指導</p> <p>＜幼稚園・保育園等での歯みがき指導＞            保育園、幼稚園の園児を対象に食生活を含むむし歯予防の啓発及び歯みがき指導</p> <p>依頼に応じて、保護者へもむし歯予防の啓発を実施</p>	保育園 公立保育園 私立幼稚園 柏歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯みがき(仕上げみがき)の習慣化</li> <li>・かかりつけ歯科医を持つ者の増加</li> <li>・定期健診を受ける者の増加</li> </ul>	○	△				「出張歯みがき指導」のPRにより、新規の園からの依頼が増えたことにより、各園においてむし歯予防を意識した食後の歯みがき習慣の定着が図られている。保育園からの育児講座の依頼もあり、合わせて保護者への健康教育もできた。引き続き、H28年度も新規が6園増え、現在24園より依頼あり。別途、育児講座の依頼の3園予定。巡回時、依頼予定を準備し保護者へ情報伝達する。	引き続き、園児の依頼を受けつつ、各園の看護師や衛生担当の先生への指導者講習を企画する。		
保健所 地域健康づくり課	母子歯科保健事業「歯っぴいカムカムかしわっ子作戦!!!」	小学校、中学校の児童、生徒を対象に食生活を含むむし歯、歯周病予防の啓発及び歯みがき指導 <p>依頼に応じて、保護者へもむし歯、歯周病予防の啓発を実施</p>	学校保健課 小学校 中学校 柏歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食後の歯みがき習慣の徹底</li> <li>・食後の歯みがき習慣の徹底</li> <li>・フッ化物配合歯みがき剤の利用率の増加</li> <li>・定期健診を受ける者の増加</li> </ul>	○	△			モデル校を3校選定し、学校と学校医と連携し各学校の課題に添った支援を実施し、意識強化できた。単年度では、成果が明らかではないため、引き続き動向を見守る。	保健所として、各種報告書し学校、学区が口腔の健康づくりに取り組みめるよう支援する			
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (* )	イベント等の中で運動会、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュラーなテーマで健康に関する気づきの場を作る。	○	○			平成27年は参加イベントの対象層、啓発意識を高めるための参加体験型の啓発を実施。健康への気づきを取り組みへの動機付けを行うことができた。27年度重点課題「飲酒」については健康予防課と連携しチラシを作成し、啓発を強化した。「口腔」もグッズ形式で広い対象へのアプローチを実施した。平成28年度は口腔関係の啓発を継続実施、特に食と運動をテーマに無関心層に向けた取り組みを実施する	イベント参加者層にあわせて健康づくりのきっかけとして、参加体験型による啓発の展開を他課と連携し、実施する。			

所管課	事業名 *は病科事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ			実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果 今後の課題と考察及び平成28年 度の取り組みについて	平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス																																																																		
					乳幼児期	学童期	思春期																																																																						
学校教 育部 学校保 健課	健康診断事 業	<p>&lt;定期歯科健診&gt; 学校医による、全校児童 生徒のうち歯・歯肉・歯列 等の健診</p> <p>&lt;歯みがき指導&gt; 保健所歯科衛生士によ る全小学校1年生を対象 とした歯みがき指導(学 校保健課で日程・人数調 整)</p>	<p>学校歯科医 保健所</p>	<p>12歳児のDMF 歯数の減少</p> <p>歯肉炎を有する 人の割合の減 少</p>	○	○	<table border="1"> <tr> <td colspan="4">定期歯科健診状況</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>3,271人</td> <td>3,319人</td> <td>3,270人</td> <td>3,326人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">受診者数</td> </tr> <tr> <td>3,273人</td> <td>3,270人</td> <td>3,326人</td> <td>3,273人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">DMF歯数</td> </tr> <tr> <td>1.7本</td> <td>1.5本</td> <td>1.3本</td> <td>1.2本</td> </tr> <tr> <td colspan="4">0.8本</td> </tr> </table>	定期歯科健診状況				H23	H24	H25	H26	3,271人	3,319人	3,270人	3,326人	受診者数				3,273人	3,270人	3,326人	3,273人	DMF歯数				1.7本	1.5本	1.3本	1.2本	0.8本				<p>平成27年度は、国の歯周病 検診マニュアル改定に伴う 新マニュアルに沿った検診 実施のため、柏歯科医師会 と協議のもと準備を進めた。 平成27年度重点課題であつ た「歯・口腔の健康」につい て、広報・ホームページをは じめ、成人のつどいや地域 活動等多くの機会をとらて啓 発強化を図った。 その結果、地域における文 化祭等イベントにおいて歯・ 口腔の健康をテーマにした 啓発もおこなわれた。 平成28年度の検診は、改定 した問診票に沿って実施し ていく。また、定期健診を含 めた歯・口腔の健康啓発も 引き続き実施していく。</p>	<p>平成29年度の方角性は、 柏歯科医師会の研修会 等を実施している(現 在、学校歯科医マニ ュアル第2版の基、各 校で検診が実施され 予定あり)さらなる目 標値達成のため、養 護教諭への働きかけ を図る。</p>																																				
定期歯科健診状況																																																																													
H23	H24	H25	H26																																																																										
3,271人	3,319人	3,270人	3,326人																																																																										
受診者数																																																																													
3,273人	3,270人	3,326人	3,273人																																																																										
DMF歯数																																																																													
1.7本	1.5本	1.3本	1.2本																																																																										
0.8本																																																																													
保健所 地域健 康づくり 課	歯周疾患検 診事業	<p>対象者(満30、40、50、60 歳)に個人通知を行い、 委託医療機関にて歯周 ポケット測定等の歯周疾 患検診を実施する。</p>	<p>柏歯科医師会</p>	<p>20・30歳におけ る喪失歯のない 人の割合増加</p> <p>20・30歳の進行 した歯肉炎を有 する人の割合減 少</p>	△	○	<table border="1"> <tr> <td colspan="4">喪失歯のない人の割合(20歳)</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>94.5%</td> <td>94.9%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="4">喪失歯のない人の割合(30歳)</td> </tr> <tr> <td>91.1%</td> <td>93.3%</td> <td>87.3%</td> <td>85.6%</td> </tr> <tr> <td colspan="4">84.7%</td> </tr> <tr> <td colspan="4">喪失歯のない人の割合(40歳)</td> </tr> <tr> <td>79.8%</td> <td>80.1%</td> <td>74.9%</td> <td>73.3%</td> </tr> <tr> <td colspan="4">72.3%</td> </tr> <tr> <td colspan="4">進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人 の割合(20歳)</td> </tr> <tr> <td>35.8%</td> <td>45.3%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="4">進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人 の割合(30歳)</td> </tr> <tr> <td>42.3%</td> <td>51.5%</td> <td>45.3%</td> <td>55.4%</td> </tr> <tr> <td colspan="4">54.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="4">進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人 の割合(40歳)</td> </tr> <tr> <td>58.5%</td> <td>57.6%</td> <td>53.6%</td> <td>58.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="4">60.1%</td> </tr> </table>	喪失歯のない人の割合(20歳)				H23	H24	H25	H26	94.5%	94.9%	—	—	喪失歯のない人の割合(30歳)				91.1%	93.3%	87.3%	85.6%	84.7%				喪失歯のない人の割合(40歳)				79.8%	80.1%	74.9%	73.3%	72.3%				進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人 の割合(20歳)				35.8%	45.3%	—	—	進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人 の割合(30歳)				42.3%	51.5%	45.3%	55.4%	54.0%				進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人 の割合(40歳)				58.5%	57.6%	53.6%	58.0%	60.1%				<p>成年期における歯周 病予防を進めていく ためにも、若い世代 からの啓発が必要で ある。 既存の事業や依頼の 健康教育等で出会う 多くの市民に対し、歯 周病予防の啓発強化 を図っていく。</p>	
喪失歯のない人の割合(20歳)																																																																													
H23	H24	H25	H26																																																																										
94.5%	94.9%	—	—																																																																										
喪失歯のない人の割合(30歳)																																																																													
91.1%	93.3%	87.3%	85.6%																																																																										
84.7%																																																																													
喪失歯のない人の割合(40歳)																																																																													
79.8%	80.1%	74.9%	73.3%																																																																										
72.3%																																																																													
進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人 の割合(20歳)																																																																													
35.8%	45.3%	—	—																																																																										
進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人 の割合(30歳)																																																																													
42.3%	51.5%	45.3%	55.4%																																																																										
54.0%																																																																													
進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人 の割合(40歳)																																																																													
58.5%	57.6%	53.6%	58.0%																																																																										
60.1%																																																																													



(2) 定期的な歯科健康診査の受診勧奨

① 過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)の増加

所管課	事業名 *は再掲事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取り組みについて	平成29年度の方角性	委員の評価・アドバイス			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	老年期							
保健福祉部 地域医療推進室	特殊歯科診療事業 支援助業	一般的な診療が難しい障害児者、高齢者等に診療を行う特殊歯科診療所の運営に対し補助金を交付	柏市医療公社 柏歯科医師会	一般診療が難しい方本人及び家族の負担軽減。生活上	○	○	○	○	○	H23 1,991人	H24 2,540人	H25 3,206人	H26 3,241人	H27 3,822人	障害者歯科保健・医療の取り組みの一環として、障害福祉課・地域健康づくり課・柏歯科医師会と連携を図り、必要な方が適切な医療を受けられるような体制づくりを働きかける。	
					過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)	H23 24.8%	H24 23.9%	H25 —	H26 —	H27 —						
保健所 地域健康づくり課	歯周疾患検診事業(※)	対象者(満30、40、50、60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周疾患検診を実施する。	柏歯科医師会	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合増加	△	△	○	○	○	25.4%	26.0%	21.5%	18.8%	23.3%	検診を受診した方へ、定期健診のメリットを強調した診査票を利用し、歯科医師からも「年に1回の定期健診」を勧めてもらえるよう、マニュアルにわかりやすく明記し、協力を仰ぐ。	
					過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)	H23 26.8%	H24 21.9%	H25 25.4%	H26 23.7%	H27 31.1%						



所管課	事業名 *は再掲事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期				高齢期
保健所 地域健康づくり課	口腔衛生大会補助金	柏歯科医師会が主催する地域歯科保健医療啓蒙の一環。 各種コンクール実施、表彰 ・口腔がん検診 ・市民向け口腔啓発事業等への補助事業	柏歯科医師会 教育委員会	歯や口腔の健康づくりに関心を持ち、主体的に取り組む市民が増える。	△	○	○	△	○	口産衛生大会参加者数	平成27年度柏市口腔衛生関連事業への参加者は1,289人であった。本大会を実施したことで昨年度より多くの市民に啓発活動が行えた。 しかし、柏歯科医師会内において時代の移り変わりの中、本大会に頼らない啓発活動について協議を重ねられ、平成28年度を最後に本大会を終了する運びとなっている。	より身近な地域における啓発活動・検討を向けた協議・検討を柏歯科医師会と行い、積極的に実施していく。	
										H23 1,533人 H24 1,635人 H25 1,924人 H26 928人 H27 1,289人			
保健所 地域健康づくり課	かしわ歯科相談室	歯・口腔の健康に関して、歯科医師・歯科衛生士が個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行う。	柏歯科医師会	歯・口腔の健康に関する不安の軽減	○	○	○	○	○	かしわ歯科相談室利用者	利用目的は、受診にあたって必要な情報収集や治療方針の確認(セカンドオピニオン)であった。歯科医師が利用者の話を傾聴しアドバイスすることができている。 当事業においても市民が自身の健康に対し高関心をもち、かかりつけ歯科医を言及するよう伝えていく。	今まで同様、利用者のニーズに応じた対応や、より専門性の高い医療機関への紹介を行う。	
										H23 62人 H24 64人 H25 91人 H26 77人 H27 78人			

(3) 歯・口腔の健康づくりのための環境整備

⑥ 歯や口の状態に関する満足度(成人)

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と対策及び平成28年度後の取り組みについて	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																			
					高齢期	学童期	思春期	成年期	壮年期					高齢期																																		
保健所 地域健康づくり課	歯周疾患検診事業(※)	対象者(満30、40、50、60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周疾患検診を実施する。	柏歯科医師会	歯や口の状態に満足している人の割合増加	△	△	○	○	○	<table border="1"> <tr> <td colspan="5">口腔内の満足度についてほぼ満足している人の割合</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>49.5%</td> <td>52.1%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="5">20歳</td> </tr> <tr> <td colspan="5">30歳</td> </tr> <tr> <td>26.8%</td> <td>30.8%</td> <td>38.7%</td> <td>27.7%</td> <td>32.3%</td> </tr> <tr> <td colspan="5">40歳</td> </tr> </table>	口腔内の満足度についてほぼ満足している人の割合					H23	H24	H25	H26	H27	49.5%	52.1%	—	—	—	20歳					30歳					26.8%	30.8%	38.7%	27.7%	32.3%	40歳					平成27年度は、国の歯周病検診マニュアル決定に伴う新マニュアルに沿った検診実施のため、柏歯科医師会と協議のもと準備を進めた。平成27年度重点課題であった「歯・口腔の健康」について、広報・ホームページをはじめ、成人のつどいや地域活動等多くの機会をとらて実施した。	市民がいつまでも自身の口で食えることができるよう、セルフケアとプロフェッショナルケアの重要性を伝えていく。	委員の評価・アドバイス
					口腔内の満足度についてほぼ満足している人の割合																																											
H23	H24	H25	H26	H27																																												
49.5%	52.1%	—	—	—																																												
20歳																																																
30歳																																																
26.8%	30.8%	38.7%	27.7%	32.3%																																												
40歳																																																
保健所 地域健康づくり課	歯・口腔の健康に関して、歯科医師・歯科衛生士が個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行う。	柏歯科医師会	歯・口腔の健康に関する不安の軽減	○	○	○	○	○	<table border="1"> <tr> <td colspan="5">かしわ歯科相談室利用者</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>62人</td> <td>64人</td> <td>91人</td> <td>77人</td> <td>78人</td> </tr> </table>	かしわ歯科相談室利用者					H23	H24	H25	H26	H27	62人	64人	91人	77人	78人	利用目的は、受診にあたって必要な情報収集や治療方針の確認(セカンドオピニオン)であった。歯科医師が利用者の話を傾聴しアドバイスすることで不安軽減にもつながっている。当事業においても市民が自身の健康に対し意識を高め、かかりつけ歯科医を持つなど、定期健診受診へとつながるよう伝えていく。	今まで同様、利用者のニーズに応じた対応や、より専門性の高い医療機関への紹介を行う。	委員の評価・アドバイス																					
かしわ歯科相談室利用者																																																
H23	H24	H25	H26	H27																																												
62人	64人	91人	77人	78人																																												

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取り組みについて	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	児童期	成年期	壮年期				
保健福祉部 福祉課	フレイル予防プロジェクト2025(*)	「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な運動と地域の活動とした市民主体の活動を推進	医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、市民委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北郡栄養士会、リハビリテーションセンター、地域包括センター、援センターなど	市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)									
											<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度は、庁内関係課や関係機関と「フレイル」予防に関する協議を重ね、年度末に柏フレイル予防プロジェクト2025推進委員会を設置した。</li> <li>平成28年度は同委員会において目標設定やそれに向けた事業のあり方を議論し、実施していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度中に設定する目標や事業計画の達成に向け、各施策を推進する。</li> </ul>	

7. 糖尿病

(1)若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防

①糖尿病の指摘を受けた人の割合の減少	
②メタボリックシンドローム〔内臓脂肪症候群〕の該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)の減少	
③ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値6.5%)以上の人の割合の減少	
④じん臓機能障害による身体障害者手帳1級所持者数の減少	
⑤糖尿病医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																																
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	中年期				高齢期																																															
市民生活部 保健年金課	柿市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柿市国民健康保険加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健康診査を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健康診査の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柿市医師会</li> <li>・ちはら健康財団</li> <li>・人間ドック・検診実施医療機関</li> <li>・JA(ちはら東葛、東葛ふたば、いちかわ)農業共同組合</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・相南商工会</li> </ul>	<p>生活習慣病の発症及び重症化の予防</p>							<p>平成29年度の方向性</p> <p>医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。</p>																																																	
									<p>平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取り組みについて</p> <p>・特定健康診査率・特定保健指導実施率等は11月1日法定報告以降に確定</p> <p>・平成27年度の集団健康診査等との同日実施を拡充したこともあり、受診者は増加した。平成27年度の状況を踏まえ、平成28年度については、集団健康診査の実施日を12日に拡充した。(ただし、追加の1日については、がん検診と同日実施なし)</p> <p>・平成27年度は、健康診査実施医療機関対象に腎臓病専門医による研修会を実施し、慢性腎臓病(CKD)対策を推進した。平成28年度も、平成28年度柿市国民健康保険特定健康診査等保健事業研修会として、研修会を実施予定である。</p> <p>・特定健康診査が受診勧奨値者を対象に、通知や電話で医療機関受診を勧奨した。また、専門医および歯科医師による健康講座を地域健康づくり課との共催により実施し、69名参加。講座受講を機に医療機関受診に繋げる等生活習慣病の重症化予防に努めた。平成28年度についても、研修会を企画予定である。</p>																																																			
									<table border="1"> <tr> <th colspan="2">特定健康診査受診率</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>11月1日以降確定</td> </tr> <tr> <td>39.7%</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td>38.2%</td> <td>40.8%</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">特定保健指導実施率</th> </tr> <tr> <td>14.2%</td> <td>18.3%</td> </tr> <tr> <td>18.9%</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>同上</td> <td>同上</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">メタボリックシンドローム該当者の割合</th> </tr> <tr> <td>男性23.1%</td> <td>23.6%</td> </tr> <tr> <td>女性7.5%</td> <td>7.2%</td> </tr> <tr> <td>24.2%</td> <td>7.3%</td> </tr> <tr> <td>同上</td> <td>同上</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">メタボリックシンドローム予備群の割合</th> </tr> <tr> <td>男性18.2%</td> <td>17.8%</td> </tr> <tr> <td>女性6.2%</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>17.3%</td> <td>6.2%</td> </tr> <tr> <td>同上</td> <td>同上</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%以上の人の割合)</td> <td>7.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7.7%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7.8%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7.7%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7.7%</td> </tr> </table>	特定健康診査受診率		H23	H27	H24	H26	H25	11月1日以降確定	39.7%	40.0%	38.2%	40.8%	特定保健指導実施率		14.2%	18.3%	18.9%	15.0%	同上	同上	メタボリックシンドローム該当者の割合		男性23.1%	23.6%	女性7.5%	7.2%	24.2%	7.3%	同上	同上	メタボリックシンドローム予備群の割合		男性18.2%	17.8%	女性6.2%	5.8%	17.3%	6.2%	同上	同上	ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%以上の人の割合)	7.3%		7.7%		7.8%		7.7%		7.7%	
特定健康診査受診率																																																												
H23	H27																																																											
H24	H26																																																											
H25	11月1日以降確定																																																											
39.7%	40.0%																																																											
38.2%	40.8%																																																											
特定保健指導実施率																																																												
14.2%	18.3%																																																											
18.9%	15.0%																																																											
同上	同上																																																											
メタボリックシンドローム該当者の割合																																																												
男性23.1%	23.6%																																																											
女性7.5%	7.2%																																																											
24.2%	7.3%																																																											
同上	同上																																																											
メタボリックシンドローム予備群の割合																																																												
男性18.2%	17.8%																																																											
女性6.2%	5.8%																																																											
17.3%	6.2%																																																											
同上	同上																																																											
ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%以上の人の割合)	7.3%																																																											
	7.7%																																																											
	7.8%																																																											
	7.7%																																																											
	7.7%																																																											

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度 の取り組みについて	平成29年度の方角性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	児童期	成人期	壮年期				
市民生活部 保険年金課	国保健康事業 国保健康事業利用費 助成事業 (18歳から39歳 歳の健診)	18歳以上の柏市国保被 保険者に対し、申請に基づ き国保健康事業利用券を 年間8枚交付(1枚1,000 円相当)。18歳から39歳 歳の健診事業、はり等施術 事業、お口のクリーニング が事業に利用できる。18 歳から39歳の健診事業 は26年度からの新編事 業。受診希望者に対し受 診券を発行し、特定健診 と同様の健診を実施する	柏市医師会	被保険者の健 康の保持増進 若い世代からの 生活習慣病予 防							18歳から39歳の健診 の周知に努め、受診者 数の増加を図る。健 診結果で生活習慣病 のリスクのある対象 者に対し、保健指導及 び医療機関受診勧奨 を推進する。		
					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	18歳から39歳の健診実施状況 H23 H24 H25 H26 H27 未実施 未実施 未実施 未実施 未実施 83人 受診券発行数 未実施 未実施 未実施 未実施 未実施 53人	平成28年度に比べ27年度 は、利用者が増加した。また 2年目事業であるため、市民 周知等を行うことにより、更 なる利用拡大を狙い、若年 層からの生活習慣病予防対 策として実施していきたい。	平成29年度も同様に 継続予定である。 ※本事業は、健康診 査が目的の第1であ る。対象者の特性か ら、フォローも慎重に 進めていく必要があ る。					
保健所 成人健 診課	柏市健康診 査 (無保険者) (* )	40歳以上で、無保険の 生活保護受給者を対象 に、特定健診と同内容の 健診を指定医療機関に て実施。 対象者に個別通知、希 望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候 群の予防、罹患 している病状の 安定や重症化 予防への行動 が取れるように する。							希望者の相談内容に即して アドバイスをを行っている。		
					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	H23 H24 H25 H26 H27 105人 132人 145人 210人 224人							

(2) 定期的な健康診査の受診

⑥ 柏市国民健康保険特定健康審査の受診率(法定報告)の増加

⑦ 柏市国民健康保険特定健康指導の実施率(法定報告)の増加

⑧ 糖尿病の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ			実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取り組みについて	平成29年度の方角性	委員の評価・アドバイス																																								
					乳幼児	学童期	思春期																																												
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康審査・特定健康指導 (*)	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国民健康保険加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健康診査を実施。</p> <p>&lt;特定健康指導&gt; 特定健康診査の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定健康指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民健康予防財団</li> <li>・人間ドック医療機関</li> <li>・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ)千草農厚生農業共同組合連合会</li> <li>・沼南商工会議所</li> </ul>	<p>生活習慣病の発症及び重症化の予防</p>				<p>実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)</p> <p>特定健康診査受診率</p> <table border="1"> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>39.7%</td> <td>38.2%</td> <td>40.0%</td> <td>40.8%</td> <td>11月1日以降確定</td> </tr> </table> <p>特定健康指導実施率</p> <table border="1"> <tr> <td>14.2%</td> <td>18.3%</td> <td>18.9%</td> <td>15.0%</td> <td>同上</td> </tr> </table> <p>メタボリックシンドローム該当者の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>男性23.1%</td> <td>23.6%</td> <td>23.6%</td> <td>24.2%</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>女性7.5%</td> <td>7.5%</td> <td>7.2%</td> <td>7.3%</td> <td>同上</td> </tr> </table> <p>メタボリックシンドローム予備群の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>男性18.2%</td> <td>17.8%</td> <td>17.4%</td> <td>17.3%</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>女性6.2%</td> <td>5.8%</td> <td>5.8%</td> <td>6.2%</td> <td>同上</td> </tr> </table> <p>ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%以上)の人の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>7.3%</td> <td>7.7%</td> <td>7.8%</td> <td>7.7%</td> <td>同上</td> </tr> </table>	H23	H24	H25	H26	H27	39.7%	38.2%	40.0%	40.8%	11月1日以降確定	14.2%	18.3%	18.9%	15.0%	同上	男性23.1%	23.6%	23.6%	24.2%	同上	女性7.5%	7.5%	7.2%	7.3%	同上	男性18.2%	17.8%	17.4%	17.3%	同上	女性6.2%	5.8%	5.8%	6.2%	同上	7.3%	7.7%	7.8%	7.7%	同上	<p>平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取り組みについて</p> <p>・特定健康診査受診率・特定健康指導実施率は11月1日法定報告以降に確定し、平成27年度の集団健康診査は、年11日実施。大腸がん検診等との同日実施を拡充したこともあり、受診者は増加した。平成27年度の実施日については、集団健康診査の実施日を12日に拡充した。(ただし、追加の1日については、がん検診と同日実施なし)</p> <p>・平成27年度は、健康診査実施医療機関を対象に腎臓病専門医による研修会を実施し、慢性腎臓病(CKD)対策を推進した。平成28年度も、平成28年度柏市国民健康保険特定健康指導事業研修会として、研修会を実施予定である。</p> <p>・特定健康指導が受診勧奨者を対象に、通知や電話で医療機関受診を勧奨した。また、専門医および歯科医師による健康講座を地域健康づくり課との共催により実施し、69名参加。講座受講者を機に医療機関受診に繋げる等生活習慣病の重症化予防に努めた。平成28年度についても研修会企画予定である。</p>	<p>医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。</p>	
H23	H24	H25	H26	H27																																															
39.7%	38.2%	40.0%	40.8%	11月1日以降確定																																															
14.2%	18.3%	18.9%	15.0%	同上																																															
男性23.1%	23.6%	23.6%	24.2%	同上																																															
女性7.5%	7.5%	7.2%	7.3%	同上																																															
男性18.2%	17.8%	17.4%	17.3%	同上																																															
女性6.2%	5.8%	5.8%	6.2%	同上																																															
7.3%	7.7%	7.8%	7.7%	同上																																															

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度 の取り組みについて	平成29年度の方角性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	児童期	成年期	壮年期				
市民生活部 市民生活課 市民生活課	国民健康保険事業補助事業 (18歳から39歳の健診)	18歳以上の柏市国民健康保険者に対し、申請に基づき国民健康保険事業補助事業(1枚1,000円相当)の健診事業、はり等施術事業、お口のクリニック事業、お口のクリニック事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は28年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。	・柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防				○			18歳から39歳の健診の健診数の増加を図る。健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関受診勧奨を推進する。	平成29年度も同様に継続予定である。 ※本事業は、健康診査が目的の第1である。対象者の特性から、フォローも慎重に進めていく必要がある。	
保健所 成人健診課	柏市健康診査(無保険者) (* )	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。個別通知、希望者には申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防・罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようになる。				○	○	受診者数 H23 H24 H25 H26 H27 105人 132人 145人 210人 224人	希望者の相談内容に即してアドバイスを行っている。		





所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度後取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取り組みについて	平成29年度の方角性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	児童期	思春期	成年期	壮年期					高齢期
市民生活部 定額年金課	国民健康保険事業補助事業 (18歳から39歳の健診) (*)	18歳以上の柏市国民健康保険者に対し、申請に基づき健康事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。	・柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防	乳幼児期	児童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	18歳から39歳の健診実施状況 H23 H24 H25 H26 H27 受診券発行数 未実施 未実施 未実施 72人 83人 受診者数 未実施 未実施 未実施 42人 53人	平成26年度に比べ27年度は、利用者が増加した。また、2年目事業であるため、市民周知等を行うことにより、異なる利用拡大を狙い、若年層からの生活習慣病予防対策として実施していきたい。	18歳から39歳の健診者の周知に努め、受診者数の増加を図る。健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関受診勧奨を推進する。	
					未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施				
保健所 成人健診課	柏市健康診査(無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。 対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする	乳幼児期	児童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23 H24 H25 H26 H27 105人 132人 145人 210人 224人	平成29年度も同様に継続予定である。 ※本事業は、健康診査が目的の第1である。対象者の特性から、フォローも慎重に進めていく必要がある。		

(2) 定期的な健康診査の受診

⑧〔再掲〕柏市国民健康保険特定健康診査の実施率(法定報告)の増加

⑨〔再掲〕柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)の増加

⑩循環器疾患の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ			実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)										平成29年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																														
					乳幼児期	学童期	思春期	(実施回数・参加者数・参加率等)																																																									
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導 (*)	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国民健康保険加入者を対象に、生活習慣病を予防を目的とした健康診査を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健康診査の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保健予防財団</li> <li>・人間ドック、医療機関</li> <li>・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ)・千葉厚生農業共同組合連合会</li> <li>・沼南商工会・相商工会議所</li> </ul>	<p>生活習慣病の発症及び重症化の予防</p>				<p>実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)</p> <p>特定健康診査受診率(再掲)</p> <table border="1"> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>39.7%</td> <td>38.2%</td> <td>40.0%</td> <td>40.8%</td> <td>41.1%</td> </tr> </table> <p>特定保健指導実施率(再掲)</p> <table border="1"> <tr> <td>14.2%</td> <td>18.3%</td> <td>18.9%</td> <td>15.0%</td> <td>同上</td> </tr> </table> <p>LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性28.2%</td> <td>26.10%</td> <td>27.40%</td> <td>27.5%</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>女性35.9%</td> <td>35.80%</td> <td>36.20%</td> <td>33.3%</td> <td>同上</td> </tr> </table> <p>収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性30.2%</td> <td>27.50%</td> <td>28.8%</td> <td>27.2%</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>女性23.6%</td> <td>22.20%</td> <td>22.20%</td> <td>21.8%</td> <td>同上</td> </tr> </table> <p>拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性16.4%</td> <td>15.10%</td> <td>15.10%</td> <td>15.8%</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>女性9.7%</td> <td>8.50%</td> <td>8.80%</td> <td>8.5%</td> <td>同上</td> </tr> </table>										H23	H24	H25	H26	H27	39.7%	38.2%	40.0%	40.8%	41.1%	14.2%	18.3%	18.9%	15.0%	同上	男性28.2%	26.10%	27.40%	27.5%	同上	女性35.9%	35.80%	36.20%	33.3%	同上	男性30.2%	27.50%	28.8%	27.2%	同上	女性23.6%	22.20%	22.20%	21.8%	同上	男性16.4%	15.10%	15.10%	15.8%	同上	女性9.7%	8.50%	8.80%	8.5%	同上	<p>平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査率・特定保健指導実施率は11月1日法定報告以降に確定</li> <li>・平成27年度の集団健康診査は、年11日実施。大腸がん検診等との同日実施を拡充したこともあり、受診者は増加した。平成27年度の状況を踏まえ、平成28年度については、集団健康診査の実施日を12日に拡充した。(ただし、追加の1日については、がん検診と同日実施なし)</li> <li>・平成27年度は、健康診査医療機関対象に腎臓病専門医による研修会を実施し、慢性腎臓病(CKD)対策を推進した。平成28年度も、平成28年度柏市国民健康診査等保健事業研究会として、研修会を実施予定である。</li> <li>・特定健康診査結果が受診勧奨者を対象に、通知や電話で医療機関受診を勧奨した。また、専門医および歯科医師による健康講座を地域健康づくり課との共催により実施し、69名参加。講座受講を機に医療機関受診に繋げる等生活習慣病の重症化予防に努めた。平成28年度についても研修会を企画予定である。</li> </ul>	<p>医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。</p>	
					H23	H24	H25	H26	H27																																																								
					39.7%	38.2%	40.0%	40.8%	41.1%																																																								
					14.2%	18.3%	18.9%	15.0%	同上																																																								
					男性28.2%	26.10%	27.40%	27.5%	同上																																																								
					女性35.9%	35.80%	36.20%	33.3%	同上																																																								
					男性30.2%	27.50%	28.8%	27.2%	同上																																																								
					女性23.6%	22.20%	22.20%	21.8%	同上																																																								
					男性16.4%	15.10%	15.10%	15.8%	同上																																																								
					女性9.7%	8.50%	8.80%	8.5%	同上																																																								



9. がん

(1) がんの発症を防ぐための生活習慣等に関する知識の普及

① がんによる死亡者数の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ				実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度への取り組みについて	平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス	
					乳がん期	学童期	思春期	成年期					壮年期
保健所 総務企 画課	がん対策	・がん対策検討会議(議 員および市内関係部署、 がん診療連携拠点病院) の開催 ・議会への事業報告 ・保健衛生審議会への報 告	市内関係部 局 がん診療連 携拠点病院 医師会など	「柏市がん対策 基本条例」に基 づく関係機関と の連携のもと、果 敢たるがん対策を効果的 かつ効率的 に推進	○	○	○	○	○	がん対策検討会議実施状況 H23 5回 H24 4回 H25 4回 H26 4回 H27 3回	柏市議会選挙の影響により 4回の開催予定が3回となっ た。関係各課及びがん診療 連携拠点病院との情報共有 等を行うとともに、がんサポ ートハンドブックの内容を充 実させ、第4版を作成した。 平成28年度はがん対策検 討会を年4回実施予定として おり、千葉県がん診療連携 協力病院も構成員に加え、 更なる連携を図っていく。	がん対策基本法や千 葉県がん対策推進計 画等との整合性を図 りつつ、柏市における がん対策について、 検討をすすめる。	
保健所 保健予 防課	肝炎ウイル ス検査	柏市民で、これまで肝炎 ウイルス検査を受けたこ とがなく、他で検査を受 ける機会のないかた、感 染を心配するリスク行為 があったかたを対象に検 査を実施。	柏市医師会	肝炎ウイルス感 染を早期に発見 し、適切な検査・ 治療につなぐこ とで、肝硬変や 肝がんへの進 行による重症化 を防ぐ	○	○	○	○	1,141人 1,444人 1,182人 7,685人 7,333人	40～80歳の5歳刻みの年齢 に個別勧誘を行った。	継続実施		
保健所 成人健 診課	新たなステ ージに入っ たがん検診 の総合支援 事業(無料 検診)	特定の年齢のかたに無 料クーポン、検診手帳 (啓発用)を送付し、該当 するがん検診について、 無料で受診することがで きる。 対象となるがん検診は、 大腸、乳、子宮頸がん検 診。	柏市医師会 柏市市民保健 予防財団 医療センター	がん検診を受け るきっかけとし て、今まで受診 したことがない 人が受診するこ とで、受診率向 上に寄与する。				△	○	クーポン利用率 H23 H24 H25 H26 H27 大腸がん 13.5% 12.8% 14.1% 9.6% 7.6% 乳がん 26.4% 28.6% 25.3% 9.5% 16.0% 子宮がん 19.6% 23.0% 18.1% 8.1% 11.3%	・大腸がん無料検診は、H27 年度を以って終了した。 ・子宮頸がん及び乳がん無 料検診は、新規対象者と H25・26年度で実施したコー ルコール事業により把握し た未受診者について、対象 年齢に無料クーポン券を発 行している。	国の方針に応じて実 施しているため、国の 動きを把握しながら実 施していく	
保健所 成人健 診課	成人健診事 業(健康づく り普及啓 発)	がん検診登録勧奨 がん 予防の啓発を目的に、各 種媒体を利用、特定の年 齢、転入者等には個別通 知。 モデル地域を設定し、健 康講座の実施など重点 的に普及啓発活動を行っ ている。	ふるさと協議 会 柏市医師会 市内関係部 局 専門医療機 関	新規登録者数 の増加			△	○	○	新規登録者数(延人数) H23 H24 H25 H26 H27 32,362人 23,546人 29,077人 26,128人 27,493人	40～80歳の5歳刻みの年齢 に個別勧誘を行った。	継続実施	若い世代への普及啓 発活動を積極的に進 めたい。

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成27年度取組みの成果、今後の課題と考察及び平成28年度後の取組みについて	平成29年度の方角性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期					高齢期			
(2)がん検診の受診																	
②胃がん検診受診率の増加																	
③大腸がん検診受診率の増加																	
④子宮がん検診受診率の増加																	
⑤乳がん検診受診率の増加																	
保健所 地域健康づくり 課	啓発事業 (*)	イベント等の中で運動食、タハコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課、柏市民健康づくり推進員、各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることにより健康づくりの場を作る。	○	○	○	○	○	H23 -	H24 -	H25 -	H26 6109人	H27 5235人	平成27年度は参加イベントの対象層 啓発意識を高めるための参加体験型での啓発を実施。健康への気づきを取り組みへの動機付けを行うことができた。27年度重点課題「飲酒」については保健予防課と連携しチラシを作成し、啓発を強化した。「口腔」もクイズ形式で広い対象へのアプローチを実施した。平成28年度は口腔関係の啓発を継続実施、特に食と運動をテーマに無関心層に向けた取組みを実施する	イベント参加者層に合わせた健康づくりのきっかけとして、参加体験型による啓発の展開を他課と連携し、実施する。	
保健所 成人健康課	がん検診	「がん検診重点健康教育及びがん検診の実施のための指針」(厚生労働省)に基づき、胃、大腸、結核、肺、乳、子宮の各がん検診の実施。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	各がんの早期発見、早期治療に結びつける。		△	○	○		H23 12.4%	H24 11.9%	H25 11.1%	H26 10.3%	H27 9.8%	・減少：胃がん検診、子宮頸がん検診 ・増加：大腸がん検診、乳がん検診、肺がん検診 ・啓発の推進や受けやすい検診の工夫、登録勧奨を行った。	若い世代への普及啓発活動を積極的に行っていく予定。	
保健所 成人健康課	新たなステップに入ったがん検診の総合支援事業(無料検診)	特定の年齢のかたに無料クーポン、検診手帳(啓発用)を送付し、該当者ががん検診について無料で受診することが出来る。対象となるがん検診は、大腸、乳、子宮頸がん検診。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	がん検診を受けきっかけとし、今までの受診したことがない人が受診することで、受診率向上に寄与する。						H23 13.5%	H24 12.8%	H25 14.1%	H26 9.6%	H27 7.6%	・大腸がん無料検診は、H27年度を以って終了した。 ・子宮頸がん及び乳がん無料検診は、新規対象者とH25、26年度で実施したコーレルコール事業により把握した未受診者について、対象年齢に無料クーポン券を発行している。	国の方針に応じて実施しているため、国の動きを把握しながら実施していく	

